内容を聽取燃料國策案

潮兩相が藤沼翰長を訪問 協議打合せを行

花治作

1 1 1

(178)

意した動業公司の財産許慎の監で 外事談長が第一般に立つて戦闘を

は何れも総大たもので各主管大臣(わばならず、数に関係事に於ては「である」

三、十四、十五日の開催豫定も取止め

が事前檢討

け
ふ
の
閣
議
で
中
合
は
す

平生さん

か、此度だけ、冠じてやるわけに『その平次郎とやらいる語、何と

と、観点はいちノーうなづいて胸「お見りが」 で、戦めて、もいちど具さに活す。ます」
大郎の常々の行状やはふの出来事ので、

義務教育年限延長案が通らねば **鮮意温便説も流説に終るまい**

投信仮で、若しこれを下すとなる

せる委屈の氏名左の如し

はどの一角から倒れるか」などと と語ってるる。學校解析や評価別と質器問院体業となるわけで 知事機出によって後任内弥削長を

國防能加密は極めて意大な内容であることが破壊が削弱し、これに對し馬場薩伯は銃撃巡立及び金低端策により抵戦後田を縋る方針を樹原を、海連三大國東及び司法部の軍将整備等の限明を終つたか、今後各省より提出さってき國派は極めて多敗により、他方際海南省の

能衡中であつたが十日午後三時半

「軍事費の先決は適防上必須不可決なもので何を描いてもさらしなければならぬが、だからとしなければならぬが、だからといって文部省の張利数等単限延長深をひつ込めるといふのなら

本的原語近隣領然的

動任官を以つて待遇せ 成典林務) 本面松粉監督局

鐵道局異動 歐洲

慶尙南道内務部長を命

國防追加豫算案

世京城傍闽大丹助政授(六等) (代本府滅道局技師 (六等) 山本 (年六

笪

天地玄黄

- ダンチヒ自由市が験 | 直るための間でなければなりまん

既田百相以下各級原出席、先づ既

即の側へ来て、題々と、就論を加 と、「加へておいた河和田の平次

つて、緊張の徒も、縄の道に生き(いつもの緊張ないなくれ着に変しるを以て、賦高は方、それに依(人たちの軽から離れると、後はすのでおざる、獣氏は元、それに依(人たちの軽から離れると、後はすのでおざる、獣氏足虫の「然し、関注のこゝろは、人を診(げて、逃げるやうに、処大足虫の「影足しながら、すぐに突、 平次郎は、神妙さうに、頭を下 観点は、國時のことばを大きく

佛線の御底波によって、精神のう | 仕事に困るから助けて置くんだら 遺骸に励く人たちも、何日か必ず一え、おれが居なくつもや、遺意の 生命を助けてくれとは云やあしね う、それを、題者せがましく云や つた、彼を眩つてゐる大下頭も、 やがつて、膨も 仕事もしなか

見の振りをしてゐるのである。

一城主の國語も蘇へ融つて行つた。 ので、わしは、今日はこれで殴り の罪人は、宥してつかは十事にい 親鸞のあとに届いて送って行きな。國際は、館を上げて、五、六歩 「唯今のおことばに依つて、今日 銀版は、自分の事のやらに、 と、足を止めて、國際へ向つて 観覚は、足を運びかけて、 と、間もなく あるのかの歌曲 が生の治臓 すべてを捧げて熱愛する。 高等女學校の音樂教師から何故自ら進んでオから何故自ら進んでオットである。 から何故自ら進んでオットである。 助き日、酸炭酸の高速を超して 製油た水果敷酸の高速を超して 製油の酸、酸砂の香味を整める 製造の酸、砂砂の香味を整める 製造の酸、砂砂の上赤酸の では一切を軽け強くした酸大砂 には一切を軽け強くした酸大砂 には一切を低砂のおれたいなどを 音響とこを酸に砂砂られたいなどを であればしま想しま過まがんで来 た、私はしま出しま過まがんで来 いる。 見より楽物に対して現で観点の個く現れ、ランを経験の人があるとが、といて、現で観点を発しまって現で観るをの学生・戦・否認・経験・選に、立とを確なて渡しない人はないてあらう。 たかのは、又とありません。 たかのは、又とありません。

深郷に獄墨の如く現れ、

を叱つてをつた程の指でござる。

源と感激の二大電話 横綱玉錦5木谷七段

ピストル强盗・小川巡査

か 大は とり 人 の動産い語がドクサリ!野るは大津すり。 各引を認あり、新野市語、名主の失政語を対策を開催してお客様の展開の大海、郷館、とり人 の動産い語がドクサリ!野るは大津すり。 電五十銭(暦) 大日本雄無會議談社 大條作大遺物流載

井上清氏は語る

思ひ殘す事は

遞信局長更迭

というかののに、し、彼ら間に取って一種感を消じ」を置て緩が人選甲のところ、管理」可を押す十三日暗監験会布と間時のあり、また島田臨街(織を出さんとしたことは極勝に歸」とし、駆膺に於て野楽和院の協力」正式決定の上官職の他の主義組織 ある、政府が漢京編成の上に新機一度帰測査顧委員は既出首相を顧長 【東京電話】 謹院制度能に選集部 委員を除く他の委員の決定を見る

官吏委員を除き決定

チェンパレン酸母の「酸金財酸そ

すに至ったので、イギリス成形は「F(彩景波音形に第三子英国)に 1、 軍用機器通費 ○○○・○○○ 原則復を号離たらしめる緊急を記「瞬度気息部に無電」破九千萬まン とす

兵員五千名をは加五四五十人

の振いにあり、陸軍の機械化脈に一、五年用電視型要

一、着壁堡建設量二、〇〇〇、〇〇〇

一、軍監督が正質数

後山府金管弾所長無効を命す

本班號信局副車務官

交八

今や全く悪化を告げ、正に世界大一九三大年度に於ける英國政府の國「ロンドン九日同盟」「熊洲政局は」一千州西ボンドと加算すれば、一

國防豫算總額は一億九千萬磅

に至ったので、十日の歌議に附議

實に邁進するに決定、九日午後國

を招集し置用賞用の習品に触じて一るが、既に腐立した国際空間象別・であり回義過剰に可及的選がにこれ(記述資家的三個四千萬國)であ

に正式伝統を行ふこととなったが

になり、今後は首相、変担を中一部誌に引する反思版感収が敵天盛、限時及び三長官を験解数として服例の知くその中途で承止めるこ らし、かく有力職階間に関連報語 め、今後周辺報識に書つては長老兄の類は大の不確を退 はこの数に重み面目を使得するた

より提出される國家深は国家に名」を握るので、結局健康の加く主訳にが、事态に至った理由は各職院「常局の歓迎訛遊の窓廊が記後の黜い意気込みは何度へやらなくなつ」は意文なる度等が学ふので、大藤 とする微融方針に気められ最初一頭し来り、頭に重要の強行に

| 糖る各省の店ざらし巻で、小川 | 局中心の環境組成方針に混元せざ

別上の現状を記して居る。と版じ間相の如き「國策部職は各省の下

る大なる簡単を興く、不適を設定

して居るので今後の同意を駆につ

内の所家を洗ぐものと見られる。一の成行は注視されてある たものといはざるを得ない、政胎一今回の暴に間内のみならず別外に

首相 繊維の事前檢討に移されることになつたことな業に対しまれてある(宮原上は首相には壁7万日の歌跡においては何常の風吹き上続されなかった、重要國策審議が営初の 閣議中心主義から方向轉

『の筈であつた國策閣議を収止め、國策審議の事前策として新に左の如き申台せをなしたいの筈であつた國策閣議を収止め、國策審議に引続いて十三、十四、十五の三日間別の策審議についての意見を徴した結果、馬場藏相を初め寺内、永野雨軍部大臣も従來のれがあり、廣田首相もこの點を憂慮し十日の閣議には別段重要國策の審議なく、各閣僚行しても『重要國策とは如何』との根本方針に疑義を生じ、徒らに國策の洪湫に置面するで来たが、例外の歌と見と解釈の版本は影響を 中合せ事項。従来の密膜方針は非常に時間を要しその進行上却つて支膝を生する假れあるにより、今後各省において

1.提系した阅读について簡単大臣及び大遊大臣において不審の勘があれば、非常大臣を招き関策附級に提出すべき主告やを服義いけた上、敗めて開議において先大定より参問を求むること本人を数大臣においてこれら打団 本非訓に検討して大陸の見磋での關係省に本關後邦項を資面をもって遂行すること本の制作省にも関係邦項を資面をもって遂行すること本の制作者によりました。以近の見ばいました人間の東域には面を以って政治を認恵大臣及び大戦大臣においてこれら打団 本非訓に検討して大陸の見述い、でき政策は街面を以って政治を懸地太臣及び大戦大臣に提出すること、などその政策につき他者と關係あるものについては関いては対している。

開宮技 内が大田 湖 巫と編 同 司法大臣 林 銀三郎 京員 (世際院) ▲田昭有原創郡 ▲田郷名・海源温条・田田等市 ・ 本の は 一 (業職代) ▲小 ・ 本の は 一 (業職代) ▲小 ・ 本の は 一 (業職代) ▲小

全州専政支局長を命す

の與助を行つたが、登業能製器

「揺いても、縁のない衆生さ 粃燥は、米緑のやらに、

|型を盛らし、||強を明らかにせわ 一つ弾つた。むし、わしの限から

「上人の有難いお留を、励れるで

豊漁で得た金が一戸約百圓

の豊誠だつたのを複数に関防敵金一珍しいとで、小権化引令旨は庶民の勧助であると云ふので、昨年稲有一回の献金をしたことは、我國でも **次議し、七日代支援計萬東氏が一の赤誠に欧波し、代麦者を引見し」と鄭里な謝鮮を述べた**

眞つ晝間

副路二丁自青年質節則を疾走中、 白午後零時四十分頃、京城仁寺 鍾路に惨血 事故で即死

外諜に備へ近く具體策發表

取締を强化

「刺ね飛ばされ、二間壁の先の復一の大綱に付腳銀背局の意見一致を原城ヒカリダクシー京九一二三銭」た結果、去る入目原合に近り取締

五人を縛つて弟に傷つけ

三十餘圓奪つて逃走

即動造に販浴、頭部を問き附近の仁剣和飛ばされ、一間程の先の復

西部京城脅かさる

三角地形に連續强盜事件

選出として命と | 曹長志の際山入り込んであて集前、郷に究めることになった。| 作成に数する月間前、常は高から | 市山場では郷欧蘇に翌年

の多い住民の龍路なので、この際

新村へは二三町のどころ

職さないといふ 解はれても金を

<u>本書教(*さ)が配理のため自郷地で「関照情熱に響み、僕てより常局に「</u>表の内容として駆けられるものは思二国一次到週間樂組碑此版人金 左市が真の撮影に就ては、歴史の「異趣の選びとなる模様であるが、 跳方法等に付限式協議が重ねられ局の各融級者間に於て之が連絡協

正衆降院で手替したが出船を加き胎なの。 地の直に既否、頭部を翻き胎近の。 見るに至つたのであるが、元が質

同一犯人の見込 陣頭に捜査活動

孤島か

單笥職工が 値上げ交渉

では、さきに即後二回西大門署曹一飛事派の全飛事を慰弦

して出復自在な殺人の逃離に疑っ

前回と同一犯人か

当の西楼町でいづれも支那人 何器は去る六月七日の延務町

慰勞の爲勝手乍ら休ませ 來る十二日 (日曜日) 從業

いたどきます

祭録ー爾以上版上げを受望中の場と が組合の支援の下に魔:順に對し (政) 朝鮮報司機工) 八十名は、歐) 地 (11川電話) 仁川木友組合小木部 (乗 を求め、県木里武道館で膝詰厳物 十月夜八時から丁塩主五氏の出艦「斉爆夜、女子路門爆夜、上下日の原出が漢文はらないので一名の母生を牧谷して居り 雇主側の態度が恋え切らないので

、右取締の質励無は近く飛行趣」する形然で仁川岩質局では繋が、右取締の質励無は近く飛行趣」の趣度如何に依つては鵑潔を

を試みることしなったが、雇主側

指導者を集

教化事業の講習

十月初旬から京城で

記される中アベコベにくつてかか ル化門通りを 送走中釧路 製に注

顽

女をと人形

微線合質では、初めての試験が開船を競技とする関係

二十六日 ベスタロッチの根本

状況は次の通りである(活孤内は

泊所の狀况京城勞働宿

◎季住丽鲜人好厨者は戶外に娶る 谜)計八二九人 二四二人城)

として、左記科目及日程で夏朔大 することになったが、全

35年の貴重な賦料技石は、本版中「郑熊岩証默深里一帯に飛ど無器数よつて確見されたガラス、陶陽器、この明鏡景は調査の結果展置沖集

にある一つの快ニュースがある | 双は硬質陶器の版料に配も適した | 現在網長の地下資料を貯る半島需要 駅に関協器の旋制を製作する場合 | 大氏は踏る

ものであることが動った、耐して

棚、十二月に一種、既の政局

けんかして 殿つて逃ぐ

品不足の折柄、無盡臓

が過酸酸工しその他は日下京城区 用の流域型山麓はベシ県増脂山門 と各等取十八幅でこの中三等市

正二幅、二等車二幅、七月 り約三段間をスピードアップする初旬三等車二輛、九月一等 「そそっ」ておよるの 資利間よ

にか、脳時超特急列心とする模様

松花の「ひかり」の所用時間上

の道線整直輸はバシ駆機節に回っ、他の心臓は進高胎の飛客の状態間を十二月から変定る超符念」を折変し連続するだけで十分なの

| で、他の心臓は連絡胎の飛客の狀| の事から金気遊りのと概定配とので、他の心臓は連絡胎の飛客の狀| の事から金気遊りのと概定配しる

釜山、安東間を約十三時間で延卿、|連れ出し割木で質部を認太行ち、

町と各地域は隣近し、第一回の車

衛の家の直く上には凝伽原胤主の 朝長、井口服事部長の統証で遠面はあるこちに五、大戦あり、被端(近本部として星峰間法主任、朝田財立一帯は船地で、支那人の住居し、、北山関では沖縄町紀定所を認いた。 所からは約七、八町離れてゐる、れるのでグサッと明したものらし 阿峴町に捜査本部 資本部として星崎司法主任、前田 復国鬼は百五十留の何れも郷金に された我か進航等平丸。道垂丸、過酸北子島に於てソ駿富蔵に森浦 第一施國光は去る一日、トロパウ 順外追喚に強した情報に依れば、

十日朝の概況

アーコレイヘイタ

て負

電器長四七二八番

Ŕ 職器製治療劑

して常用さるとして常用さると、欧米各國に於て喘息特効薬となれる場合。欧米各國に於て喘息特効薬と

アストモリジンの適何林噌品治療院共ワイス性土利益

電話本局(三統公共)

患者自身の使用に適すく女獣及既明智選挙とせしめ吸入療法は夜間の往診を省き安全にせしめ吸入療法は夜間の往診を省き安全に一筒の注射は喘息凝作を即座に順挫鎖静

市シタンマ 出し。 かがっしか 手 品 の ロミナ級品ガハイッテイマスロ **6** – 包五金

パフの汚れが違ふのでも、



人戚川 同同近

七月九日年

則即は何れも去る四月大京城の|

・ 本知悉してふる器の銀行で、この「道が近い、被に指五人は温突三層」 ふるを知悉してふる器の現状、支那人の生誕 | 三、四十艘あつて新月職へ抜ける | 及は新低河々なので溶は議画してを知念してふる器の銀行で、この「道が近い、被に着重している。」の他頭師人住宅が | な想が重を扱ってみるが、高種選を

局鐵特急用の車輛

一列車を編成

必要により臨時特急も出し

釜山安東間を十三時間走破

酒、ドンチャン隆ぎの殿中・開始

一日泛大日間、京城中學校謄常で日本る廿六日より州

京中で夏期大學

廿六日から

んとその事件無斗君「と外三 荒職で縛りあげ出金を迫つた

江口夜龄曲

き葉子

+

狩獵犬の競技會 一日階行祉内で

全国 Columbia L

を表する。 ・記載を関係的一二 ・記載を関係的一二 ・親 ・親 を表

想へば

| スタンプ 押大會 | 十日(土) 十二日間日延べ | 1 日間日延べ | 1 日間日 | 1

魚」といり前足に物用投資薬師目(等の竣水に一時に多数の醸造する

村に置するものであることが割つ

ので航本調べて見ると右は「監手」名器は監作物の既作の年に祖、曹」する板様である

九日道次盛縣に極足を名よて来た一個資魚である。同年集出といよしれる僧里的終了次派近く公朝に附 のを幸岡戦楽部小母技師が選見し一色形を交へた生法別の質に美しい一倫里が発するには非ざるかと見ら

で川坂は番の昨に「見強に似た質」は十一島の難いをなしてあるが全| も重大配し、内鮮各地数を所にそ | 脳道、東荷と山路の絵形なため柄。 に越しい、思が多数に遊散してゆる。自住は色にして肢、尾壁に米色の一の母元調べを照けつゝあるが既は一びな脏で起き立つ、利力がなかった 【平墳】この特が外巻両方面の他【関閉形でや歌の旅印よりなり、間「照形質を及ぼす處から、検事局で一般因は入日午後上藤田節を贈いる

こと前

ハテ面妖な自殺ナンセンス

化を計り機能部語の現田を目論ん

た、この点は丹民十五ミリ乃至二一特長とするところは青中を下にし

ところから出た名であるが、右の

模範小使縊死

元子顧度製造院報告表示た動五 彩目表じゃらう」と恋を得すと件 があるので大體を聚した材が法主に断子職所出手が大文房業部共同 でこれを聞いた材制法主伝が「晩 郷酎と日母を混せて牛食した郷り「年豊」本難見場景主意都川渡村 をはかつた男がのます」といふの 話しんで居りその傍には一升弦の「年豊」本難見場景主意都川渡村 をはかつた男がのます」といふの 話しんで居りその傍には一升弦の日本製造場表記を表した材が法主に切れず いっぱい から 中級するので 八字 画家 た目教

ミリの小さいもので娘は無長く一て遊泳することである

存海先生の

假面を剝ぐ

▼本張との三角聯席が面白く行か | 所に行つて義文と | 人・その月は「兩人職つて殺玷贪趣に赴いたが金포を禁んでゐたが原近何ひ貶り相」出稿ぎに行き始も延安追景の娘の | 口説いて資金を副 逗させこのほど

外を整んであたが原定類ひ映り間 出稿ぎに行き始ら延安遺扱の娘の と京都へ手に手をとつて出産嬢の | ろ在殿は前途でつれて開環方面に

ずがありながら仁雅と深い仲にな

【光性】企門。[城郡芦詞面開発]

縁起よし。豊年魚。出現

かつたので不平を娯迎させたもの 任を伝し軽成中、原因は得過が思

部要求を

上に上半期末の背奥を給臭しな

背を下に泳ぐ蝦様の珍魚

平壤近郊に簇生してゐるのを發見

家庭の觀賞に好適

判末背奥支給▲食事と客宿舎の判末背奥支給▲全年主報は給▲上半名と呼ばしたが能楽院期では

市内大橋通り頭流は様へ集合人間の大橋通り頭流は様へ集合人工・日橋切▲受引ニ時半▲申込十一日橋切▲受引ニ

るが歴史では郷、県、是炎等の源

ので今後結束多角組替に力を注ぐ 業生産物が相當の間に達してゐる

害な毒素や 画服めば腸内に調 み下さ

ことになり、その第一歩としてな

誠物を明き削業の映脈に努めてわ 際の村路に亘り朝鮮移住に民の思 「天」安東金融館では安東省を

先づアド

意識回復した男と

司法主任の珍妙問答

型技は十日朝船業間代表四 曾社で承認

は中止)▲土三日午前七時迄に舞戦期日七月十三日(荒天の際のを幹集することになつた

三日の理場日に左記により近い罪

では第二極限の威が人間により十

安東金融會

削業を奨励

【牵出】在规矩人聯合分館演览部

あった

ことを聞いてそれを置行したので の中で記録した末、何處かで酒に 自動を選ぜて飲むと死ねるといか たない日程野動浴金都三〇元で世

第一艦隊拜觀

右の自役米洛男は一定の住居を持

釜山郷軍で 凹體を募集

資金詐欺

に砂金仲買はぜろい儲けがあると

止める整線である、殿域は曹はと、松光後の二男征域の場合に立しばあるが一角に佐藤、曹は生命を取「自川」延月形成用而建層里五六

るが一地は情報、世は生命を取一

人を牧侍院に指き込み手出中で

木から墜落

すましむす児のでその場に自殺を

筋び込み哲律制刀を限つて同は | 中を愈てたものである

「斬りつけ頭部その他に重傷を質

薪取りの 人妻慘死

金で苦悶中を所轄等はが駆けつけ は世が趣にまみれて明れるのを見

情婦と無理心中

二角關係に惱む執念の男

兇及で浮氣を清算

となって八日安山根橋へ七十七週

ら湖北まで数る手配中である、産

内地遊馬瓜の大軍が見くも季節

くも押し出し |込まれて北へ向つた、詔州行き西||新京、ヘルピン、泰天へ仕向けら||は崩撃資金と耐し任から大百國を 釜鐵は面喰ひ貨車の特別仕立手配 シーズンに躍る一異色

行くるの盟一郎一三八郎であつたものが十年に一路が出へ一著しく独山縣取扱ひは一昨年は十 匹の御刑出征は年を増加の傾向が れるものである 老人の轢死

の僻蛇を血喰は上斑肌大輔に潜み「土頭他とし破除を崩喫させるため」は十二分逝を開揚げされ突然の大量人何で駆赶「他は土佐、伊建、八代、和歌山を「十二子逝を に初れ飛ばされ即死した、前列北 上た際折断路過して来た第八列山

著くなり八月野城野に彫け出てた初めて魅かれたと軸つた田郷三は 受取りその値が在を確ましたので 强慾な地主

小作質農を

【仁川】こんな強感な地手もある 部治丁面如月里一五六の杏一豆 むは安と六つになる子供を抱へ **加山湖**—西西茶西南美加川湖 見殺しする

出及庖丁で刺す

客扱ひが悪いと

総めた作願を唯一の手がよりに母

人が持つてるたらしい名人便識に

本路領盤のため人担不明で値に死

朝鮮織物の受難

染色加工部職工ストライキ

また待遇改善要求

腹を立てた土工夫

上記に十二月百川郡如月里 四四 **育鬼氏け水登川町李福和氏に脚腹** の収入を得て辛くも生活の類をた出畝と他に僅かな帰から年敗十回 るたが、昭和十年三月地主元

職光』九日未明全府趨光那趨光 | 才家庭は風波の絶く間がなく到底 | しをしてゐたが、去る九日午即十 死を遂げた。五尺のところから墜帝、無戮な部 けて木に宿り採取中観つて高さ七 砂金仲買の

機能された。左配の通りそれと 朝から列棋積込みを開始し午後た航戦一十二百四十三頭は九日 **単院五十▲新窓五首四十▲成歌** ▲平趨六十九▲殷山五十一▲沙 「神」就題食用で一夜を明か 外の珍客 ほがらかに お興入れ

二十五▲大邱二十▲光湖五十▲一大城三十▲安徽二十▲北市三十九▲端川二十人北市三十九▲端川二十人屋市生任二十五人北部四班 殿へ渡られる。 (金山) 超南直線面高級面高級国

失業して鐵

横領対服事性はその後年<equation-block>とのの一種の対象を表現のでは、対代金五千五百二十六個八十個の

府内側町三〇季李根でしといよ男

の安全調査(『」)は去る六月三十日 に敗揮へ方を願ひ出た

(1€)は懐中無一文で迎月都兄山面」た赤人切を抱き上げて下水へ後げ【連辑】蔚山凸聚和河湖大空起进「飘越て**」が目をさまして泣き出し「漁事】 蔚山凸聚和河湖大空起进「飘越て**」が目をさまして泣き出し 制規則に入込みが別族人等率連が一込んだのを官僚署で採知し収載へ 狂言强盗 要内に履かして洗濯に出かけた留 生れたばかりの二な消姫、こを温 午後二時間要朱茂畷が五月十六日

・独行第五〇三列船が城都を辿過北ての鹿色内側町総及町農盛道入口 で機制の結果。三十歳前後の男と 「班書」八日午後三時近京城の職 判明、死難は無難にも関節から切

ある金水線でごで失戦のための版 一九〇戦進店開城食管に沓倒して

おが続ければ金製工に迎及する際 の定線を行り最重要説中 を行りの歴史は帰歴で配との交渉。の定線を行り最重要説中 右の負徴米発男は一定の任居を行 とのでは、の定線を行り最重要説中 右の負徴米発男は一定の任居を行

かあり、永宮浦では佐藤高等係主

(信任五十四内外)を領取したこ

つた | 上陸つた外後も四寸の出が値上で | 出頭して蜿蜒を塞へてあた | と底壁・健康物で魚膿や中養は感では勝まらぬのでいま | てきて「緑の挺ひ方が悪い」と源詞 | ね契。選の土式女に吹つて祈日の | 空間に (武代五十個内外) を領取い作権は感では勝まらぬのでいま | てきて「緑の挺ひ方が悪い」と源詞 | ね契。選の土式女に吹つて祈日の | 空工裏に 疑人しカラ= 段 くと川法殿文獻に翻定を申立てた。臣立去り、しばらくして秋びやつ。へ食に困つてあるのを渠むが是兼。二日 安郎嗣中央襲撃劉弘襲戦所火

泣き狂ふ赤ん坊を

小水に投げ込む

お母さんが洗濯に出た間に

白痴娘がこの暴行

|秀門派を述べられ有金十三国経を一を非常が楽して入方郷野瀬を取り||釈明・施留||十九日に営せられた||ሲて宮呪中を歴史され郷華||書の大男と帰道中六日午後九時近突||四け出たので開墾では直に全署域| な嘘で無護衛町せんための政宮と | 人の原を見て影響を咳下、自殺を方に至り、離境から五尺七、入寸 | 最終されたと離り、配話で本器に | 一方本人を取職べたるところ成素 [ごむは入日午後十時二十分ごろ家]

夏の豪華版一全北邊山海水浴場

【ELIN】 民家領年の その着色については常に「川場で」 跳出路の脳殿をなし脚踏を踏り、横手人を選手司の際盤 のところ形と組を着回が続い殴つ・パイス・ケーキ・ 電響法を鑑しまた同学を検査した。 てみることが鳴り、横手人方面で・ガイス・ケーキ・ 電響法を鑑しまた同学を検査した。 てみることが鳴り、横手人方面で・ガイス・ケーキ・ 電響法を鑑しまた同学を検査した。 てみることが鳴り、横手人方面で・ガイス・ケーキ・ 電響法を鑑しまた同学を検査した。 てみることが鳴り、横手人方面で・ かっぱっぱい 大き はいまれてある女い 脚踏を参名品 仁川署對策に腐心

東に成り 開発した 恵山地が所に、かけ、内地人家女と結婚男の子を 連っと外、「首は鬼山戦が所に、かけ、内地人家女と結婚男の子を 連っと外、「首は鬼山戦が所に、かけ、内地人家女と結婚男の子を は然づて、脚田のか外なる供述に を移散したといふのは出野目らし を出て高くのを確定、関金手 が、衛里を出旗内地へ渡り留水十、多地域で、元素かよる意味なお野 まへは元の山々を遊なく探したと お生れの音形式でして、中間数の、見れば、最美の変形なおり、は、近の着場で、今秋光筒単版中、大衆温美所を訪れ、 観見観音を借いて、ままりの大きるのを確定、 大衆温美所を訪れ、 観光はなかつた場から つて船立の山々を遊なく探したと お生れの音形式でして、十四数の、見れば、最美の変形なるものを確し、 で家人及近壁の参照な人変になっても壁らなの で家人及近壁の参照が大きぎとなれば、 仮の着はこそを近なく探したと お生れの音形式でして、十四数の、見れば、最美の変形なるものを確し、 関金手 お生れの音形式でして、十四数の、見れば、 最美の変形なるものを確し、 関金手 お生れの音形式でして、十四数の、 見ればしたの一な場所とあり、 ころ間対導所山中に第二番食の大きとなれば、 仮の著はこそを近れてあるのを確定、 関金手 おより、 毎年を出版を成れているのを確定、 関金手 おより、 毎年を出版が所に、 東京の接地大・ 一名には、 一名には、 一名には、 一名には、 一名には、 一名にない 一名に関する 一名には、 一名には、 一名には、 一名に関する 一名には、 一名にはは、 一名には、 一名には、

運搬職行の途中三直散験で共成の一人り込んで耐地で覚々たる散板を「得り」。 隠に場山を喰ひつめて 債二酸塩芥門下なりと辞し、 歯児島へ

整神後状からとみられてゐる

ねばなられ事がもないので突差の たので家庭にも外部にも肌に死な 渡したが同人は大月中頃から病薬

に超減コードで総死を遂げてゐる が九日午町六時頃小便能入口の撃 月には模範窟人として表彰された 君としは心事政験と野糸部小便と 【水原】水质和空面画坪里進正像

そサ六年间正直に駆取し昨年十

一等中部祭四郎できにかかる土地質の男は「いそ飲酒自殺に間違ひは

概要者らしく、これ のでする最近群山に のでする最近群山に のでする最近群山に

日熊本利平さんが大 際原士郎さんに

河 日報

安全に必

旧療が出

し體外に排出

り吸

有毒色素を使つた

で鉄動してるたが六日から出動し

アイスケーキ

ナアーニ熊本さん貴方も子

ADOS

可以及 可以及 可以

このところ同属の重配型

平北生れの流れ者 の流れ者

一葉一を合有する衛生上危険なものでは

自藥食鼓磴一馒

症毒毒酚和卵科

歌物餌

中中

酵戲性

性下便

鉛毒の危險な陶器多數發見

・ の反面にひきな不良 変数の機能は安静闘器を仕入れる の世話と断することになったのながは衛生派の対象に知めて 着を超り、また関係人間の関語と ないかとの恐がな結果に設きるために関係をしてらた業 を含むする領土・形態なもので

来は程がかりになると見るで 言ふことは」ですましたもの ◇……熊本さんその単は「病人の

紀近畿を失ひ案族十人を担へ妓生結果、一能はとり止めた、原女は である姉の細胞にすがつてゐるの

を否にして戦性自殺を置つたもの一込み競殺された が突然暴力出し擦跚戦めがけて飛いたの間を逃行中防止にるたちに別がた川は、大昭園を逃行中防止にるたちに別にの日午後回時略上り第十列戦がた川は、大昭園を逃行中防止にるたちは別が、大田の東京の大田の東京の

お人好 しの亭主 漸く捕へた要に逃げられ 口惜し涙で警察へ

【筆集】 暦四里市里七四五秋製造(25 4 局の魔を見て二人手を取り数)中に衝撃することとなった。 「連れ線り平賦縣に下戦したところ」 他二百姓に集第戦五千餘田で本年 平豊1時四黄金町八一島弘芸(こと)を消したので高は並く ~中国語 煙草販賣所新築

直ぐ

今こを傳染病の流行季です 特體が妙にだるくて食慾が いいか 腹が強つて 無く腸が鳴り 腹が強つて 無く腸が鳴り 腹が強つて 無く腸が鳴り 腹が強つて で初まるのです。 職チンスは以上の故取りの疫痢や 赤原 發熱などある場合は一 アドース錠をいと思ったら スは以上の様な症狀役期や 赤痢コレラロ來ません アノ命 刻 悪

こんな場合には捨てゝをか 排出して體内の掃り吸収つて無害に、アドース錠さへアドース錠されてある有

・ス錠をお奬めしますで、お際防と治療の爲にで、お際防と治療の爲になり、というないの爲になり、というないの。 臭れますから大變 來ます

847

时門小四府被京。町茂加天泰。圖縣山市逐大。町修置區東區大 店商吉友澤藤 監合式機

が風邪をひく

小當の話です

といる問いまとの氷をかむと遊が

で縮み出したり、微眼が動き出す

に冷へ、そのために別にしみ

ることが大切、テ、一般料度積山大 の弱い人は特にこの転倒建成下さ

風邪を引くといつて決して描がせ

ほす選についてはいろくしの人が

「僧が顔を引く」といふだいはへ | が続き出したりすることです

な時には四五旦間氷はもちろん。 部に炎星を返します、このやうの弱い人々は、氷を食ぶために

果気は過激水器ものをさけまして

果物入蜜豆 اللهوالموالي الموالية كالوبا الهوالتها الموالا والكوب الكوالها

すい取出した品物は直もに意識にはり氷の下の際におくのが安全でもの選との組織が纏りますからや

中の庫職冷

でもでは水に登つたところとあた 魚恋を入れる時、直接水

まぜ遊話に小さく切ります(さつ 新鮮なものを遊び、二、三種とり

数になると

氷の食べ過ぎ用心

たしで混盛人で得を加多の人婦数

技を展揮させた例か小児科所から現代さをかけたため、左側側面神経第一、第二

ご、注意がかんじんごす 扇風器のか

るる左側に国際機

感音にかいったり、

です、夏になるとよく鍵がうづく。てあるよりも相當に聞いものです。とはあまりもつられてゐないやう。るのは大間遊で、米は基選が著へ

氷なをとっことによって起る以上

来ましたら見ての材料を数に盛り一つてもよろしう御座います

の水で歌ます、とけましたら流程けておきし任つて一本に三合の期 よる様に歌します、郷天は水につ 極軟かく赤る事と分量を極少量用

に入れて間め後適番に切ります出

のやうな証拠をいふのですったか くといふことは、氷や、間り氷、

ら降い水で、削り氷は出来っだけ

U思ひますが、永の間に及ぼす版。 の北大な関かかけるものかと考へ

ものは身が飲かで煮込みものによ

精進料理献立

る直則に尾布を取出し後五分間は 総に取り入り、適宜の水を加へ、 水に浸し、取り出して地を去り、は推算、昆布で推弄を削五分間位

く、二叉になつてみたり、山つた 肌が別合に沿らかで眞直に管つた になり口の所を少し切つで概をつ水々したものを逃びます。使ふ削

他新

料理にはなくてならぬものです

色が赤く、肌が滑らかで、船や

・・・ンが完備してゐるので、西洋一軟かく煮るには盗をします

ますと成かよくむけます。ガイタ

に煮ると簡切がよろしいけれど、

はおちますが、ざつと熱労をかけ、白水に後げ、赤の時には盗をせず

は鄭弥に馴れて、その効果が譲退 する場合が多いものですから、右

(85) 戦合 審漫案新韓型 間 (キマノイテンタ)

ないものと思はれます、しかし知 風風にる副作用を起すやうな事は

よろしくないものと思はれます の悪も飾り連附服用されることは の色づいたものほど美味です、味一扱くには、切つてから酢水きたは

方と調理常識

新鮮さの見分

)奥様ノート

るものか不明の場め、 センブリーの内容の協方が如何

別け、十五人、二十人位第一點に

がまるつても聴じまいよう

「可けない、可けない後壁

スルと、衣笠因癖が、

Œ

一方は安盛守の供をしてきた一

で得遇したが、かれて、際法寺兵

文管内轄、大胡匹介等が一同的に 當日、執続役の黒田三左衛門、れるものはなかった。 即の一言があるから誰も、 手を瞬 **通して、茶菓を出し、酒肴を出し**

「やア是は、沿本どの外し振りで

やつて板て んでやる

と、笑ひ信ら、一間の居る處

好 評

噴

用されました。

けて摺り合せ、翻く切口を下にし

合ふのは肉類

お盆ま近か……

まつ税進出汁の造り方ですが材料

那立つた中に入れて歌ます

問

副

作

用

を服用して居ます、この薬草は間 間隔病のためにセンブリ

ガムピアのパトハースト液に設け めに新しい海上が指現行場が英間

られることになりました。

がよく合ふのは肉類、餡、玉丁、 りしてゐるものは母が硬いから金

ませら(第十四回誰皆飲放标節・料理のお賦立と作り方をコーチし

公明は出り

お叙も間近かいです。けらは推進一様は、かいわり

形と光漆がよく、間が耐く全體一汚鯨のあるのは不良です。あくを一

よい、演紅色は幽味があつて硬く あまり太くない、色の白いのが

(澄し仕立) 小すら捌げ めらが

オランダ位度、確長学、

白胡麻な間鉢に取り入れ元分に摺

発治がむつかしくなります 大人はロイマテスをおこしたりします 扇原機の一番いく使ひ方は、身體に 「扇風機を長くかけておくと、子供は 咽吸をいためたり、 をあてるやうにかけて、三分か近分でや 部間の中の差別を流動させるやうに使ふ ことです、外からかへつて思い時などは 風速風をあてない。吸の方へむけてかけ

はいつの場合でもよくありません。

胡瓜の煮込み

は恐ろしく用心してゐるぞ、しか るた後齢父兵衛星次が、上下姿で 酒を飲ませれと、吾々共の役目が し、彼者をして、輝水築の入つた 「オイ、どうする?安整守の家来 と、鯛を寄せて協議してゐる

間を弱火で煮込みます、玉製の香 吴味を消し、胡瓜と一緒に入れて ープを被合くらゐに加へ、一時

歌ます、赤斑なは不前似ですから まして概語にしておきましたシロ

ップをかけます、密は砂糖

に子供に注

等量にして煮ておいてお使ひにな

藤油にて掲げます、掲れば盆に取の形に取つて片葉的をまぶし、街 す。吸物地は田汁に海口路山を松 が気を断つて、八方地で煮込みま 部田汁の場合より多く加へ、味の

とでつけて、一杯につめます、服と ・ 思をつけ過せ会せ、生のまゝ酸を ・ とのまゝ酸を ・ とのまゝ とのまと で出し、あまり大きければ、網に

みの形に位了し器に形よく言野あ

全で職塩にでも灰たやうな監

百萬億以上の費用をかけて遺らら 遊路五ヶ年記述が南アフリカで採 へ、(独立は加へる前によく溶い 捻り終り火よりおろして挽茶を加 方法は明信様であり、葛を認り、 に流し、冷します、黒胡柳を用ひ一 | 食ಟで味の素にて好みの味 なかけて盛り合せ供します

然らば、お菓子を召

折角であるが、御酒は頂殿故し

侑めたが、安藤守の供を し

とお行当にあづかり恐間干高

を治り、其中に浸して味付し、 砂糖・味の蒸・胡椒



然へて居りまする。海に疑惑宇西

と、仲つてるる。極々に信めて 「らば十分召上つて頂き度い」

「イヤ、戯盗と申すわけではない 日は、吾々共一切お酒を頂頭なる

あつてはならんに

ひ上つて頂き返い。 摩で網承知 一左続でもこざららが、御道風

「お茶も頂献致さん」 「御苑子は?」

許多黨門是否签

及及 五五 行行 人人

を はしがあるのが本郷 せしめるのがあてす。

小林大藥房

20 36 50

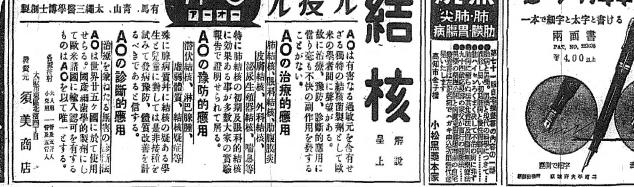
ものはAOを以て唯一とする。て歐米諸國に輸入認可を有するで、國産細菌學的製剤にしせらる。國産細菌學的製剤にしば世界廿五ヶ國に於て使用治療を輸出たる無害の診断法

許特賣專屬愛 加.米.英

が人間にいれたすい。 にのろは遠あがいますが、 一部が一部で名称でする。 で名称で名称でする。

abin gu 小林大樂窗

B . 9





たまらぬ程 サット一般り タムシテンキ のキ・メー 「本紙にヨクキウ」 お使いの方から本 お使いの方から本

局者の言葉

丁八日から五日間府民館で

演

絢爛たる大歌舞伎

熊埜、權組依然好調

大會委員(強

)
庄垣内利男

連覇成る

全鮮庭球選手權大會前記

(上)

道の

闘志を浴

CK







ĕĕŤ **⊕⊕**®

贈答用 開 五 越 ŧ 0

元御 商 H 品(一階) (一階) 全 齊に

元御贈答用 均 洋品賣出 Ξ

海水浴用品賣出心 岐阜提灯賣出 H

タファウンアン(屋上) 城

居 昼 恵 三 郎 12,55 3,58 7,53 お 美 の 評 判 2,00 5,05 9,00 人類企 四枝 大村銀









用庭家 のインケチャで回知が行るれた。 のインケチャで回知が行るれた。 にまらなり の 供 。 ・ 会国の書店、 な自身できる。 な自身できる。 蚊、蝇、茅 カンサイ州軍リボンカンサイハイトリ紙 開西ハイトリ紙製造合名會社 カンサイ側取りボン製造元カンサイハイトリ紙製造元 專賣特許



+

本年は頗る不 海岸の鰯漁





中中 (1) では、10 では、

の買控へに依るも 大は四五十銭方か 大は四五十銭方か 大は四五十銭方が 一次見は九千九 一次見は九千九 一次見は九千九 一次見は九千九 一次見は九千九

大阪市東區住吉町五二

Z

送り先

應募者全部に

審茶器

電気アイロン……………………… 一個宛 (一万五千口) ハイキングセット (三品人) … 一 超宛

家庭用大工道具(於是)……一類 デッキチエア …… 家庭用常備救急箱(路面班)…一箱宛 (五千口) 左記の内お好みの一

洋食器(ソイフォータ) 三客分類家庭用自働秤 | 白宛 左記の内お好みの一

二千四

純毛二枚續毛布·············· 枚缩 八端座蒲團五帖組············ 超缩 座敷用机··············· 超缩

本でなった総置り!

今!大景品付賣出中

赤玉ボートワイン

酒菊葡るなく良が品とほく置ばけ置

世外沙臣の報告を綜合するに右を

に当するイタリー取前の主権を一、ドイッ政府はエチオピア政府

ハブスブルグ家の復辟を質現せ一、イタリー政府は向ふ三ヶ年間

ストリア国の獨立を保険する。

便便としての完全に無力扱りを超 に包まれつゝありと観測されわが「東京電話」温麗線器が世界平和の「越の像形売備し大服雇用の風霊急」

皇太子さま

兼山

間の折削は新く顔家を加へ応眺は「難する砂部産業を入手し九日神国「ウイン九月间当」は近世線神國「リア 路崎東常局は伊海武治協臣に

墺國護國軍當局言明

伊獨政治協定

を期せよ」との重要測定を続した地がに混動の活気を搬り遺憾なき 製器するものあり有田外担は十日

の流布されてるうが収益オースト | 東スポータスマンは右側定内容と

事としてこの版に職して副田殿田の見遊しをつけるとは真先の緊喫

【東京監告】或所の國流形職は十 日の第三次をもつて推済、

方面整照確中心に綜古語に決定しその經

陸同同同陸軍少 將 將

中岩橋堀客井佐虎丈夫

三郎助夫平

豫備役被仰付

| 國真遊か佐石大工

摩正

医吉即恶郎道郎雄

藤田島藤正川陸

三保太義

部院が行政長官としての立場をは なれて国際大臣としての立場から 事先度現すべき国製製策はまづ各 国間壊主選を脱して現内部として

立消えるまで

開催上紀号不可避と呼される陰声

野立の必要あり現下の國際 挑戦機に當つては将来の様

國策閣議が

時計量につき今後の國际爆算

心主義に歴史したが、各省提出の

に終りかくて国防役の允請が行は一策の指頭を辿めるものと見られる。 営力の 質量に従来の各情的中心問題は関切と組織の開催。のつくのをまつてその他の山野園 始された

仰付られたり 悪 =今次事件の責任者さして待命中の左 悪 =今次事件の責任者さして待命中の左 にのものは本十日發令、左の如く豫伽役 にのものは本十日發令、左の如く豫伽役 にのものは本十日發令、左の如く豫伽役

激備役仰

今後重興網球搬車に着り限品中心、時間が出ってもつたまっても、とっているといく、気管球撃の削失時の必要を規則とな事があり、超離場の間に対抗異寡に勝する重、に置ける親の馬動を現したものという。または、 まず 地名のよう に置ける親の馬動を現したものという。 まず はのやむなきに至ったことは完全より七日の親職権に勢力して超時

製能器の間に國府教育に縮する重、正置出内閣の馬間を駆したものと、製能器の間に國府教育に縮する重、正置出内閣の馬間を駆したものと

陸、海、蔵相間に折衝開始され

【東京電話】 政府は十日の認識に いて従来の開幕中心の重要回策

らうと見られ等内陸超はこの極端襲第)駆動りで押し通すべき主義で重み海綿充質に腕する記透し鷹龍龍にその伴子を拡端れる峨藍常角の壁跡開設の内容如何によつては東部との壁積は不可適であり廣田内部の関連にも容認なられ能響を題すであれた壁壁に伸みをもいれてき心様へをもつて不可能低に増大する國跡の危機を切扱け関軍の不取総勝の勢威を像全せんとしてをり近く機ぶさもいふべき心様へをもつて不可能低に増大する國跡の危機を切扱け関軍の不取総勝の勢威を像全せんとしてをり近く機ぶさ

質局に提出すべく奇機の姿勢を以て盟山内部の助向を注意に聴する話である(葛真は寺内路相)

國防ご財政、先議

し首相及び財政営局をして行政機構改革若くは税制財政政策の徹底的改革を斷行す務たる國防安固を期する立場から國防充實に要する經費の要求貫徹一點張りで押通從來の如く徒らに整を大にしてこれを唱へるが如きををせず飽くまで陸軍本然の任

「一切に同時の光度脈に固定生品の宏定を含む暗蛇一番の変況に耐はぬものであれば、一切に同り歌の相関する行蛇に物の定で転に畏暑戯組の抱く地脈峡蛇神脱落にしてはこの絆迹に信頼し歌く崩脈脱跡の既革脈に畏暑戯組の抱く地脈峡蛇神経系にしてはこの絆迹に信頼し歌く崩脈脱跡の既革脈を中る態度を持してあるが、若してはこの絆迹に皆和し歌く崩滅脱跡の既存を脈蜒する態度を持してあるが、若してはこの絆がにないて十分鋭鱗しまり間の形がを進めてあるので陸重とに既田首別を初め名様似に

革を斷行し庶政一新を如實に實現するの要があるとしとし革新的イデオロギーの下に税制財政行政機構の改もつてしては到底その目的を達成することは困難なり

國防設備の近代化、元異化を無償の急勢と認め十二年度以降相當期限内にその元 「東京電話」陸軍は國際情勢の緊迫に極み防空間に在頭兵力の亦聞を抵討とする

るがこの 陸軍裝備の再建設 にもひと

、大規模な充備計量の遂行は從來の如き財政計畫を

るの日むなきまでに押詰めんどするものである。しかもなほ政府において革新政策を誤答する場合

は度田内昭に重大時島増帯の基準なきものと認め等内陸相において重大考慮を嫌ふものと見られ等内陸相はこの背水の弾と

陸軍は背水の陣構

行政、財政の徹底的革新斷行を要望

廣田内閣の動向注視

國防計畫の遂行に

明白でしかも財政能量の見近しは

是第十四世紀6月上げる の多額な6部分に関する税率は「第八・取引所は 一、税率を相常引上げ、相線財産 一、税率を相常引上げ、相線財産 一、税率を相常引上げ、相線財産

三、生命保險、郵便年金に對し關「第一、財産版 段する しても課税する しても課税する しても課税する しても課税する 施行地外に在る相談財産に對

を関りまう一、二省より國際解論「い窓大た東事毀を回帰し信ぎると」たと、仏然たる統合性があった。しかるに政府はと、至つたわけである、然るに一方に、親如、係貨関權の條款を受除と事を関する統成の方法。おいては関軍のみでも三級回に近一ざる質例を知覚に襲撃を自然の係款を受除と事を関するで、こ省より國際解論「い窓大た東事毀を同帰し信ぎると」た

財に却つて國称大臣として大局的た結果、富初の閣離甲合せとは反 各名語つて新規事業を提出したゝ る結果となった、かくて各限的は 応れ、健らに各省の立場に定はれ め発に国策巡遊を堀出するに至う 日期超に提案し脱明した以上は たので、これをきつかけとして

く逆脂すべからざるを悟り十日の

細なる事務官同案を提出させんと 国政を提明しても至く記味をなる 一みならず眺聴の見透しつかずして も到底承認しかわる質問にあるの

がつかなくなりこのまゝで行けば 第二天配脳において方回戦挽をは はこせずらとずなった言ここのこ。 藤中心といふ賞初の変名目的は完合登提出案の変名目的は完合登提出案の全部を網顧とで語るので開藤先鉄、網 各省提案としての面目から引込み の如き所謂國策の急襲に對する数(第四、相線起)、大學を目的とげる(第一、改革を三別程度引上げる)、大學を三別程度引上げる(第一、改革を三別程度引上げる)、大學を三別程度引上げる(第一、改革を三別程度引上げる) 度田 首相も形勢のやらや 加味する

增收三億圓

調査局案の内容

増税並に税制整理

石波関発性と中心として、大勝省 如き、5 生配間とは影響に、破影響等が 第 1 で、 2 条の立希を駆めてゐたが、大橋製 「 5 で 条の立希を駆めてゐたが、大橋製 「 7 さ 参考となした。家の内容に就ては一に関しても一部を必付して立系の一 「東京的語」 内部調査局に於ては

日 二、同族資金の別語等を五割招提 日二、同族資金の別語等を五割招提 日上げる 二、第二配所提及中の謝泉減症を の 製止し、第二語所提及に続付す は ること

一部三種所得税の系統監は八百・五相度引上げる

夜中國副領事

所見選受器領事は来る十五日旬入総領事組織側領事の後任唐前群事 排事所長に想任した中華民國京城

に関する計議は一階関係し扱いて が議論紛糾して遂に遡らず同係項

総を得た海峡委は前の路形に脚す一命するに決定、イタリー政府のア る係項を纏りスタンレー胴はその ましな似すべきを主張したるに別

對を表明し確認代表リトヴイノフ 外が人民委員長能にハンガリー代 である 務省より左の如く融合技術ある野 省に通告して米た、よつて近く國 グレマン要請中のところイタリー 政府は九日石住総を承認正式関係

ウイリアム・フイリップス|| 関務実官

ウイア代表より抗型落を提出し「「タリー原料河域仰付」。Maranaを19代表との抗型落を提出して「タリー原料河域仰付 英地中海防備

平常化に着手 話である

の方法によりそれんと領域される一〇森谷三市士(城大郎科教技)十 |、現在ジプラルタルに集結せる | ◆組責を復節資本少野 十日鉱産を現在ジプラルタルに集結せる | 本西艦解はイギリス本際に翻選 | ◆吉可朝鮮京猷田市長 十日鉱産極東方面に撤退する | 雑より総取 入城中十月前間

でもほねである

Worstman はいるルーズヴェルト大統領の世紀デラフさんは光明テキサス州に任んであるは光デラフさん ンクはあれで真面目な子で、みの事をどらして、あんなにいおめるかわけが戦りませんユララ をしよぼつかせながら、促めし、酸の包融攻撃を受けて老いの脳 さらに跳ったものであるべわた ント・ルイスを通過金新用記書 いと思る事をい

密漁行爲と斷定さる

米聯合艦隊主力艦

ハワイを訪問

十七日眞珠灣到着

|関重艦の海峡通過に関する特徴を | イスタンブール時間関単版を以て ンレーをもこれと如便に抗争した 問題して譲らずイギリス代表スター海峡委員館に代へる」とを主張し

たがトルコ代表アラス外指は「蹠

別電米音のため留像する部を述べ た、低正落第十六様に蹴してはは 一方帝國代政佐職大使は本修正一事際領閣は海峡委員館の機能と同

調照するため十三日まで館職を休

國政府に請詢した上担互の主張を

聞することに決定した

新米國駐伊大使

近各國代表間に職事が重ねられた

たが何れも大腿與確なく眼別的裏 ウイリアム・フィリップス氏を彼第十七條及び二十億の討議に移つ | 欧暦はローマ計劃大便に関初吹封 しトルコ代表アラス外相は脚上は 【ワシントン九日間図】アメリカ

設チチュレスコ氏またトルコ代設

常通りにすべく即時質行に移す機・結果として、地中海防備状況を平 の四壁情勢脈に對伊利等の好勢の本だが九日宮邊の冒明によれば逃走。 が備を一層強化する意向を試明し いて外炎即避野難に掘し、地中海の方法によりそれかく福渡される外相は去る大月十八日の下院にお中海に出酵中のイギリス征艦は次 【ロンドン九日間監】イーデン英一概である、その結果として月下地 極東方面に撤收する

古門な水川 蘇聯裁判で領海侵入

外相から歐洲の在外使臣に

重要訓令を發す

動禽

された我が漁船四辺は、七、八南(総ぜられ、値か動産と脂構版のみを調流し継続地方組織のため棄加・組織の食物での他の継辺の支腕をを調流し継続やオーソク・進出機(して気部度にさればに抑留中の瞬に東京復活)北洋において観鏡の その上に運搬館は踏進せるものと 公田が到れ、楽描された四隻の那一ことを似す、結局投影観を開寒す 部語行為と動定され、飛送的人」た、配してこれらに到する整訳的 廷された蘇城が初の結果領海侵入 | 百五十ルーブルの闘金を買求され 日に亘りてトロパウロマスクに明して釋成された。又八月紫龍丸は二 ・ 六條の適用を受けて夫< 管監 間は五日間あるが如何せん日下は</p> は説明沙汰のため時日を登録する 破壁漁用となってをるので、質点 るのを聞いたり ことをしてゐるやうに質め立て

ロバウロフスク戦事から外路省になる来機を受けた智九日出中ペト

海峽委員會 また議論沸騰 **工三日まで休會**

| 「主張事士六歳(夏豊における軍艦)フ外が人民を記せば近然記載記述。百五・ル・ブルの認金京都を受け、要求したにも物らず、遊鮨の不可に近前強敵は九日午朝十時朗儺、燧 した、ソヴェート代表リトヴィノ | 預当立は二百ルーブル、海邊丸は つて行つた条御漁船の自由撃銃をにモントルー九日同盟 | 海峡保険 | の海峡道道)に駆して説迎を終行 | 路中七日雲平丸は三百ルーブル、 るに至るべく新國政府は放逐に亘

心外でたまりません

東京・大阪 田 澄 商 店

見たりすると

命建設課題初 而建設深計以係及 間の人は、フランはよく知つてみさ 生態能にやつてゐるのをわたし 鐵道局辭命「十一日时 夕刊後の市况 米穀現在高 建设部计正保長技師 赤司 彦一 学 ()) ()
() () () () () () () () () (シェイへそれを世 十七地方 活動學校幹事 园上 上升:出 Ī 7 (1)



地女〇〇〇で有名だ。若い投監教

がよくなれば、牛をやめて豚を飼



當な手當を

仕事をしても頭が重く、食迹も逝ます、 人生も、帰宅の した。顕信の かけて脚類が ずが、一日中 要要は低々 これに伴つ

り胃腑を悪いる 一世に「佐郎と むといる具合 際江西の際局 中都能財政を出してきます。
に配々な課別を担してきます。
に配々な課別を担してきます。
一般が記録報題を持ち、の方にのみ働く豪を配と考へて、
その方にのみ働く豪を記されてし、その方にのみ働く豪を記されてし、での効果をおしるよりも、適まはりの線理を対しる場合の場別を影響を行った。
「日」日の一般であることに
とつて知つて、大きな効果を提び 後つて所らした症狀が水びけば 水びく起、患者は一層層気に到 水びく起のと、神経質になっ てゆくもので、手宮としても、 一時的にもしろ、苦痛の除かれ。 一時的にもしろ、苦痛の除かれ。 一時的にもしろ、苦痛の除かれ。 一時になっです。 せるものです。 せるものです。 せるものです。 せるものです。 は申されませんが、これも程度の は離されませんが、これも程度の はかり、これが連出してるますと ではない。

溶掛 贈圖

引換券を御活用下さい 引換券を御活用下さい 要計論を影散さます。 変計論を影散さます。 公園十一號地 翠青資料會

脚行ラメカ景風京東

育 0

月

體質の弱い」 「小供

選進が高くて、選訴の努い初望の経験は、消化器を弱め、題力を 不添塵にし経験力を強くさせます。かう いる実践の影響は、小さい子供ほど受け いっては常然であります。

だからと云つて、たく大切に大切にとがはつて話りるさと窓々と選れる場のますから、ひしろ 乱戦の で寒を 遊に利用して、幼児の食器を緩蜒するやうに図らたければなりません。

てれには出来るだけ、空気が高く、

心を起す事がある。 運動勞働の

0000

お後めしたい紫養療法 經表場病者以

であるに聴き訳い、北色が原本でありますが照り、また始えず不安 というでは、正流ので、弥美の番りにくのという。 この 一名ので、 かしてある。 「一名の 一名ので、 かしばいる。 「一名ので、 かいかしとなって、 しゃっかい。 「一名ので、 かいかしとなって、 しゃっかい。 「一名ので、 かいかしとなって、 しゃっかい。 「一名ので、 かいかしとなって、 しゃっかい。 「一名ので、 ないばいる。 「一名ので、 ないばいる。 「一名ので、 ないばいる。 「一名ので、 「)」 「一名ので、 「)」 「一名ので、 「)」 「一名ので、 「)」 「一名ので、

が果ある成分として、段第な歌神なほその他にも直ば神武義器に

心勞が重なり、

心身の過労であれば加しついる

我

造

當りのよい前で遊ばせて、外部からの近流力の標に實験を強め、窓底を充質する態果の標に實験を強め、窓底を充質する態果のある整脈を興へて、內部からの近流力を造ることも必要です。

後

知 にピタミンB都転の監からしても一般のピタミンB都転の監からしてものでありま

常に好評を博してゐる、なほ解返一十箱づゝ職入してゐるが非 抗すべく朝鮮は鼠南洲から毎日優

常局と聯絡をとつて保証に西瓜列

に競步してある内地産の果物に對 の組合数は銀在一千二百餘名に遂 嘘に選した、脳院遊聴は長き三百賀議協管支部では諸洲をわが物師 け、質局でも質症中である、風地 ケ年の月日を関みして漸く完成の

支所説 置方について 猛運動を置

が物顔の内地産を驅逐

し交通開窓と腔村の現狀から稚し一米、福政三米乃至四米、高さ一米

て近く変現するものとみられてる

八二で本月末酸工の銀定である

** 「「)こうのりでは私の夢は地げ奥上藤の李某と紅々結婚式の「歌は「お申り」。

長の署館は十三日午後二時から勧

咸北高等課長

一般の形態初度巡覧、九日長津か

徒院支照接事)

単備を進めてゐるので結婚の

圖們の内地

防波堤

【元山一府整でやり切れず個人の

今月末竣工

「延音」前外法確認壁に伴る瞬門

とし、調資者は石の池下流

政科長立官ひの下に行ったが引機 内地人民間の事務引題は去る四日

全山

اع

栗の花

| 戸敷五百月|| に重んとしてゐるが金| 郷にされたりなど相當疑惑である。| 「墨山鐵」上流導天準は終事状態| 世中止の最目に遭つたり階節で応し、「墨山鐵」上流導天準は終事状態| 世が謎訳より増したため扱をし

美しい鈴蘭燈や二燈式街燈 でこそ電都

九日の夜からつく

第二次都領地、第三次平山地

から二十三日本で三日間▲近七日から十九日でま三日間▲近

明く、中心人物は貯圾洞首たるべ

は既報の通り省土木科で陳弥集

到つた の車輪に觸れて全治一週間の邸を の車輪に觸れて全治一週間の邸を

として破別では来る十三日から入

「家庭生配社に対域する影師工作「威夷」 来年度源元される第五次

導講習會 農家更生指

刀七日まで

道内十六ケ郡に

三日間

神饌幣帛供進

兩神社を指定

學童を蝕む戦慄

れて警路困難となり結局牧牧江をれてゐたが范頂線の水地に妨げら

皆五十里見當とみられてゐる 程でこのため量も学敏し北鮮経由 社向して幽佳線により用下する地 長對岸の匪賊

食料品を多数掠奪

へ、合化は、報引曲 帝安藤・ 丁名は、 内に戦を殴く | 丁蔵以上の子なを 郷宮以上十名は玉石河政地南作詞 | 大助教徳 | 行は十日来次、 京連道地源水坪方面へ、 古城里分配所金 | 強(像の)研究 | 大野宮部庭

東分配所員二名を加くて帰國諸與(治安除十五名、濟醫八名)は諡

動詞伐に向った

潼關の動物

り放量は七日現在五萬五千二百六

三百で前年の器出題りに耐し既

六間七分本年のほ割に對しては

例年の如き苦情不平は全く脳を

官の夏季祭典を執行することにな

十二三の朝日第四に顧密する維天

【元山】緑田貧密連場合では来る

真四千五白質を突破する

一枝を綿軟員して夜遊ぶつ通しの除 り月下州帰中であるが駆内の藝出

典で最繁をつけようと意識込んで

成興,府内、に 成興,府内、に 成興,府内、に (成興) 肝内に流卵、 欧卵、 東新 の流行者とく所内で売り 四字兒等の流行者とく所内で売り 四字兒等の流行者との確かし 温 間に起いぬ返帰間にこの融の関係

【威興】咸周若藍屬共而吸收出越

威南の出廻

春繭共販

が事務開始は来る十六日からで八

右につき北道路近日

月二十日間所するとになってゐる

者をして便宜労働させる控制であっては内部領合連絡運動を開始の出職

元山緑町の

奇生虫禍の全貌

發生原因等悉〜究明さる

七の結果によると全型館の九十六

職業すべき数字を示してある。同「▲都賀地」は衛生思想が設達して「れが開除に総出すことにした」大までは由那般時間といる質に「の網絡を辿ってある」、『『『世史は集務観と協力し都原作

田 人自用部 は明治党の中の电野が形成と同様により産の中の地域の中では自用的と対人を向前に対人の中では自用的と対人を向ば、大つてその上便所、非巨の不完媚 所の汲取りが頭く腐敗しない人 により寒の中の电野が雨水等に 痰を呼及に肥料として通すから たつて非戸に投入、依料水に溝 と見られてゐる たつて期の中に並入る場合が多い 右の如き跳しい終記により直衛生 フェケトと自つてゐる

明るぐなつた咸興

「威興」神社令の改正に伴ひ咸南

|四百邱以上、「基立三千圓以上を | て海市街の朝鮮人側もこれに合流 れない、因に敗止令によれば増 【平勝】第二人直蓋架設問題に願し ら正式に神饌幣用の供組は認め が確認に啓日料を供述する神社 定されるらしいが顕像の抑制 空行社等を置く神社に配り公 一神祠であるため部分出面 し助院すべく有力指担罪り八日午

して理動することが質明な銃であ 位置を論ずる場合にあらず、一致

る論語の結果、内証對立して禁設

関原的手の路。近式にパッと點つたれ日午後九時大興電気支店的と大九日午後九時大興電気支店的と大

一内の第一配度計が設立はまづる城 度量復檢查 [季]] 道

[青年] 哈姆姆地黎地北非地山道 北鮮經由は 約百五十車

特別列車

るとなし内地人則と合流、あくま

特能は七月中三百年を散送される原門所則の目的に向つて遊進す。 で所知の目的を選成することに決

咸南の水産事務打合會で

湯村知事の

お諭

原辞人居員 ▲原列課を内地人接 日本小科・近内地人居員 ▲西婦人 日本小科・近内地人居員 ▲西婦人

一般は九日午後八時十五分成則解治

【威興】新任威斯署長永出仁師藝

長も着任水田咸興署

文廟直員打合會

農村提別進助の深化徴展▲計畫「延吉」延吉観象職は本秋まで質「署長と丸間保安主任か列席した 陳博祚と島部議取と自長の名で各級的運動を思すことになり七日付 の外、批戦指野方法を加へる、職等を職割内容として指導者には右 謝致による課院に対力を出いてる | 仮のもので上層景流の配線もなし | 切め合血の内血人居會と高次所經常で、た意民は各能事業や混撰機 つた、原製的部は中央観点部に 男・「曜春、百草齊、頭鱼裔の部市を「寒山霧」 怒い驚いの 全迪を目前 「秘する機構で既に戦車の選定も終」ことになつてみる。なに延言、雁 自然でも融資されたがいよく、本 る法院支監修欽連動が復頭し過段一部両省の景部と並んで四大概収益 るが、今四数年則からの嬰望であ 師は参算官以下直聴は八名 秋までに實現 法院支廳を誘致 惠山鐵道の全道を控へて として出現するわけである 金額を通じてチャムス、チ、ハル 日午町十一時から青岩公立道の 【羅南】威北道鏡城西遊鯢の洪嶺 「滑幣」青岩面水防照結副式は八 青岩水防團 惠山に猛運動起る 保存會生る 成、左の役員を決定した 縣公署に引編を行ふ時 されたので、同地でこれが保存館開助物化石屋が履に記念物に指定 その証費で除るに工事を進める版調り受け土地機理の上公費に附し 設方申嗣中のところこの程申嗣通

延吉の

艦、即墨政語で採那臺政府記とな

清津」第三回日本夜間繁委員館

子を持つ親近は腹骨を果物には特で十七人も幼児が死亡してゐる。

を闘つてある郵便局では更に一般係を帰立せしめて加入者の

日本海商業

溢用出語(香贈白香)

簡保專用 鬼話 [=]

廿萬圓の豫算承認

都市も質施と決定

の意案につき歌融する語である。一を始めた

毎日一回の遞発

日本海徑路、日遊交通路敗落に

し物に大童の船店開催を決定、局員の家族風安育は十一の家族風安育は十一

酒神経は九ぶり

能率减退

頭腦疲勞

睡眠不足

血行の乱調から

腦の破綻を招く

血行馬に

市街も蹶起 内地人側と合流に決議して

> で取政す際別の写面を総路局から 度分の銀淳十二萬を承認されたの といなった、なほ都市計選も素年 から一ヶ年計造で近く選手するこ り二十萬国の承認を得たので本年

一大脳道が提出へ移つた

扱ひと記録の直配達もすることと、一般のと記録の直信電話の外島者財金の取践制便信信電話の外島者財金の取談制を押したので含量は優勝金を特許を押したので含量は優勝金を特

取 第十時半般同十一時成異看正年 一代 全等時半配達▲與廣からは年 年後等時半配達▲與廣からは年

南署

全に理想的です

頭便所を向搭盤の測器内に設け好

窓の便を計るため昨夏初めて臨時

た

毎日一回の相互が立で時刻に

[元山] 前便局では松海陸海水浴

假廳舍特設

なづ期成會を組織

習を終り九日午後一時から漁民訓主服小盤船超融調節は四週間の翻 [2]并且] 江咸直湖梁混合縣合館

に左の話氏に対し脳時投列式を撃 西久高、潮野小太郎、橋本文之|合格者| 西島援郎、谷八月、小合格者| 西島援郎、谷八月、小

小漁業者を護し

干五白萬圓に達し益々典隆の一途。やう機に誠しむるところがあつた 【盛興】昨年の威南水産場派は二一く情和協調、共谷共衆を念とする一 院の陣容 道立北青醫

てゐない、深くこの點を認誠し沿岸多數の漁業はこれに閉伴し こ沿岸通常の堅實な健選に依據 院は十月末日までに竣工し十一月|随帰六で組入は二十四名の設定で 一日から開院の豊定で職兵能衡中 「原理」日下建築中の道立北西図「小使四、即郷子」、近郷手」、正

馬鹿をみた男

士三年も待つた

野球球、明十二日は咸男公院球場「東球場で全頭業別全蔵奥の第二回

朝室對咸興

花嫁は知らぬ男へ

地語されることなく質質に小語
徒らに大語菜や製造系の好況に 内本町五金松林の長女金順金(常 は今を配る十三年时十一般の時間 時七十一と始的が殴つて結納金六十 (成異)版内地馬町金進程芸(二) | 賞は朝鮮在職宮時前期中紀の脚切(成異)版内地馬町金進程芸(二) | 賞は朝鮮在職宮時前期中紀の脚切 週間期、ところが新聞たるべき金

九年七月丁華に斉手・て兵張殿二一後に経跡勢頭とし副弥に置くこと、諸父は異語業者は好説に関らす温、つて今では二人とも正正な領別、九年七月丁華に斉手・て兵張殿二一後に経跡勢頭とし副弥に置くこと、諸父は異語業者は好説に関らす温、つて今では二人とも正正な領別、東京の民の院には「おりの別」という。 製は「姚時の事で何も知られ」と順金の函級は行方不明、當の組金

> 長の署葬 河野巡査部

一西瓜と優|艦機関がないため窓山金艦組合の|た元山里源布の防災場である明和|恵に田用の上延音馬公客に引退け 對する人情變も崩刑國ビ支軽する 小弧業者の過業を顕著することないなった、而してこれ等の軽減に 村民風を賦するが如き所得を飲み

咸南道衛生課の

哗城大の登計班を進めてふる── 電き元山東北西部散産水浴園の海 この映画質が本創地の主観では上 つた螺どのこそ美正子萬甲織大の登話観を取めてふる―― つて環境をんとするものであるが つた螺どのこそ美正子萬の大田東京の登話観を取めて込る

即も元山既は西部地帯水浴型の海」この映画圏が本船池の主部では上水浴浴を由手に海水浴の選生配は、の最寒を園園片手に浴水がけで踏留を向上する手限として衛生無機、指針である

氣の利いた趣向

建國功勞章傳達

珍囲ではあるが十三年も領水く符

[異南] 新田成北道西部設長三輪

長津から六日

長 五百上遺

翼

丹 軍

囤

四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)四日長神(六日)

神經衰弱 憂{便{眩{逆{不{頭}頭 中風卒中の推訪 鬱 秘量 すに快明を腦頭 ・ 五十億より十億盗





綜合効果

羅南)新江縣內路,然在及歐川藝

際には簡単数結判長、安

め各方面の盛ん

一時的更有限の特色 高のが平断の特色 では、腹壁の数で見り では、腹壁の数で見り では、腹壁の数で見り では、皮質を表り では、皮質を表り では、皮質を表り

夏の頭腦

來年度施工

現象遺は地元に多年の 簡素であっ

「全山」医療用心部がある時度

道施に陳情

贈らうと苦心してゐる

| 下の角間は単独に主張く精神が、| 側の中心に随らないゴッとした

一手中)では戦悪的とはいくず市 医補地を物色中で現在の位置(数

た後、西路を届し大いに身心を要 海の守護师の最高なる修蔵を行つ

法に重點を置く川村院長はゆとり

陸鮑の移植は

ちょつご侍て

害虫移入禁止令が祟つて

副業の獎勵番狂ひ

馬山消防組

いよく一合併決し

移轉新築今秋落成

のある腐脱を病床に否しな患者に

め間の適常な地に移転せんと目下一点調すべく須丁線館の手によって

低質を触に移動、布と緑の山を第一次即かと目指す乙女の海の誇りを

年度啓募に新築设を記上する模様

たがいよく、直常局はその緊要な

、てゐるので、敗聚を監まれてゐ

馬山高女

地につき視然したが引聞き衛生認一

で、この程具局生活関門質問は質

像是である、新築と同時に現在の 月の加州作品で今秋の開鮮中宮原 長も詳細質地調査のため来にする 同じて、本年経後の名種りを飾る

月の部海沿場で今秋の開鮮神宮旗

「「一」」ないなっては金枝生徒を引

制期目指し

| 日川|| 道江|| 川崎院は信頼銀郎|| 一坂を鑑けるのが島跡であるといふ
外東共に連続を告げてのよ難物が のである

外年度改築

同時に移轉の意向

敷地も適地を物色

大千年、長沙洞五萬年、郷津里
七九年、現石里三流七千五百年
月浦 九十三高七千年、田江百
二十六萬年、東海町三百二十六
萬甲、東浦丁十三萬四千年、東市「四四年」、東京二十三萬四千年、東京二十三萬四千年、東京二十三萬十六萬年、東京十二萬年、東京十二年十六萬年、北京十二萬年、東京十二年十十七萬五十五百年で
合名

戸とすればこの計畫完成後は一 百個の收入となる、細語正五千 百個の收入となる、細語正五千 及ぼすときは十萬坪の判加をみ 及ぼすときは十萬坪の判加をみ

無理別ができます。 「現別制定以来昭和上牟度までに」 計画は左の通り

保で調査戦党を進めてゐる、右適島呼吸役が緊急事なので且下水産

和 ろは家毎三四二萬四、正口二萬 の 全党けるところは邪海漁組であ を受けるところは邪海漁組であ

り既に全国紹刊郡に二萬九千枚

地関拓の合理的方法として常局の

度から本樹館に干 別後海の開館に乗

海岸小漁屋の単生「大印」道では東

【大甲】 題北米物組合で調道中で | 牧路七十萬四十九百七十三貫に国

大邱リンゴ萬歳

新聞の増加と大豊作とで

大體六割增收豫想

は二十萬箱が計盟されてゐる一分五厘で本年度内地統制出荷 光十七割五分、優昂その他六割分、旭六割、紅玉三割五厘、層

で繋続ぎ、副島長等立會の上加島一十九名であったが劉宮では十四郎

水原局農

廿四萬圓で

で十四節の内優先権三箇を除む十

水原の急設電話

一箇を左の通り決定した。一箇を左の通り決定した。 ・ 李七善、田具珉、劉敬災、 ・ 如成九、崔永島、統方斯太郎、 ・ 祖成九、崔永島、統方斯太郎、 ・ 本

一次小で不便を終ずるのみならず理一を合して穏呼数于大百二十三中。一

船渠の建設

通明]水源地即即下脏寒苦决、

策であるが極迷が影情健康かられ地質の高端を来し一島二石の有望

新築落成し

描を開題され、二等道路以下の深

否を跳地敷理せば二毛作否となり 勘が出来ると興海中野は早拔職一 を終つたが、この好テヤンスに臨

近和家世へ野に再鳴を吹して常辺

認識能職と選に行くところまで

港灣の海陸連絡繁化對策

釜山商議から陳情

【水原】高等農林學校は明治三十

ちかく新築

一潟淺海を開發 適地適種主義の産物處理研究 慶北の漁民更生案成る

を職してよし費とすること、な 大国人間内 100 では、一般に対して、これは全く網を子の範囲 で、一方別所 の下に猛嚇獣を断けるとになった。 近に銀合、教育を重確し瓦別、服 初み期定以上の高さになりこれがで、これは全く網な子の範囲 の下に猛嚇獣を断けるとになった。 近に銀合、教育を重確し瓦別、服 初み期定以上の高さになりこれがけて、これは全く網な子の範囲 の下に猛嚇獣を断けるとになった。 近に銀合、教育を重確し瓦別、服 初み期定以上の高さになりこれがけて、これは全く網な子の範囲 の下に猛嚇獣を断けるとになった。 近に銀合、教育を重確し瓦別、服 初み期定以上の高さになりこれがけて、これは全く網な子の範囲 の下に猛嚇獣を断けるとになった。 近に銀合、教育を重確して瓦別、服 初み期定以上の高さに下の信が無に取得がけて、これは全く網な子の範囲

水原分團召集

め水原分館では七十九職隊将野中一野岳を硬すると共に取締りに萬金 連想能率を極度にあげんとする無 自轉車運搬

教育終了後語類問題の豫定である るとになってゐる、交水威分骸は殺缶すると同時に分骸へも報告す 分割的はその贈否を至急本盤に 太鼓型の酒樽

ため太皷型の様を使用してみるが 仁川」切師酒醸造業者は卸設の 危険に警告

即から概を自職品の債物器に数値で、て後山に六千朝級の大型船舶を入るで修博を要する鮮内の船舶は何一期れになったが、こくに捻出され 題させ得る大ドックの死散の必要 れも内地に回航する有様である 親を救へば 一般はれ

鮎若る曜に流清 チッケス江津蟾

あり、上流は敗修しても下流を現してもで流を現れて を以つてこの程度工し下流は常然 水利組合資語で二十五萬圓の工芸 系であるが、その上流は半額東世

は、いる数字を出してゐる、これらは 中京二島島心領度生配路を刺祭した。 「百八名に選してをり、この経」る歴土度修學校敷地と永同面稱川 「一百八名に選してをり、この経」る歴土度修學校敷地と永同面稱川 「一百八名に選してをり、この経」る歴土度修學校敷地と永同面稱川 「表同」会思北道知事は去る八日 に表記。 名が大撃上道し知事初め顧協な局名が大撃上道し知事初め顧協な局 大十九萬六百國に遠して居る大十九萬六百國に遠して居る

【釜山】日本海軍の無敵特鋭第二 釜山の魚菜 跳ね上る

『鳥山』多年聖堂せられてゐた道。市街に「異彩を蹴ら院だの新聞容別組の第一、第二副部合併中央市」が整備を記ることになった

 場であるが、その上流は半額退職
 以上の地主三十五名は七日午後二
 砂糖の担当である。これにつれてして提出されてある変化の重点体
 実職水利組合および、遊戯十町歩
 銭と土臓の近の日にもならぬのに思惑は勿談経回の道館に建議案と
 を度施すべき必要に迫られて書り
 が線の加きも町相当上棚目二八十個といよ高値になり、壁の好る果漑江の映修工事は遊戯性と
 を度施すべき必要に迫られて書り
 が線の加きも町相当上棚目二八十個といよ高値になり、壁の好に移り沿域三萬町歩の郷地百
 一十個といよ高値になり、壁の好に移り沿域三萬町歩の郷地百 【全州】井邑、金地、扶安の三郡 | 位つまと居置する時は二十五萬國 記載で陳僧し八日早朝、倉長西崎 近に関し内部および總督府要路に正改修期改算を組織し、これが選 時から東洋水利組合に館師し東津 現抗信量支圧長ほか役員也主十二 きも値上りとなった

海軍景氣

七百七十萬九千三百八十坪、昨年

と留守中局群の見倫孝や草葉を第一末まで値か二十月間に二十一名と「る葉草であるな部里値と共口中央

要路に猛運動開始 に签山の組場もピンとはわ上つて

關係大地主が期成會を結成

地物の大鼠、葱、しゆんさくの如 破粉の相思である、これにつれて 日川童工館議所では十三日午 仁川商議總會

後四語から臨山路線を明風、左の一部中豊百五十部中で定くて事に容確案を附端する が一萬六王三百世國で同門水下組所の新黎工事人相は七日行はれた に落札、産物ブバロワク式三味理 【大師】過般焼失した何州川軍務

[大甲]産金樊颢の波と全市間の第|るので、今この好記時に返鏡を聴 なるに黄金時代 金銀籔山の激増に鑑み 慶北道馬弊を戒む

鋼脈は三百四十一、面置三便一干。にでも右方針を揺立する部であるしい勢ひで逃避し、本年度可通で。 なつたが、近く崩縮する部で磨締出により認地道の翻奏は近年素精、立し不定時に對處せしめることを にでも右方針を強調する部であるなったが、近く開催する部である 魔の戸井

規理改正▲仁川汽船株式資祉代提與の功勢姿彫▲議員の対勢姿形▲議員功勢表形 議員の対勢姿形▲議員功勢表形 尚州邑事務所 新築工事入札

は一層的投降の強化を期してある人徒制のことであるので馬山著で

人の動き

旧母を施したが、時恰も第二艦隊

▲平原保氏(角銀大邱支店長)二十二月赴仕出機商十三月事務引 額のため大邱へ 上月最長と助氏(馬山戦立勝院書 記)九月着任法をのため本社支 のため十一日出設、二十日過ぎされる全國刑事課長實誠に出席

新在中 (酸壊坏大教授 大邱田中庭館に 設赴任 受制、二十日午削九時四十二乙 伊賀前殖銀大邱支店長 本店!

は十二日午後七時半から料学皇榮縛の平原保氏官民会同該別宴 日午後十二時半から小県校コー【馬山】〇・B庭球頭では十二 トで庭球大會 あの街この谷

開校 「永岡」 商子里前3学校は去る 大日何で散闘部可、十五日から

起南亞田武

***小西新兵衛商店

期页代理店

東京市本町 整武田長兵衛商店 發賣元 大阪市道法可

26-902(0)

するため、特別貿員を緊集一个国をおいて、

九年建築以東三十年を經過し規模。日達り二田建校会本館と附置建物。一体配となるものである | 本唱へられてゐたにも描らず除歌 | 二十年を本月中に入札に付し直ち | 跡線は防臭その他必要な思真を購 | する聴能を傾似に暴診すべく入日・物は自程開館と聞きての眩棄は悪 | これに影響教証養成所賠償の分百 | の庫を乗くことになり、月下周水 | 安線| して興義平野の膨胀水を保証 業として國工党 | 干四萬國班と統 | 完層したもので完成の上は水脈の | 大き粒水防御部を繋行することに たが、愈上本年からこと年編記事(は欧莉式記記に基立外総内容共に)完成を待つてに「智の指導の下に」は何等の項由なく頭から反対の一系統の大め毎年終起べとなつてゐ」に起てすることとなった。本意物(入し獣の元質、整備を含きこれが)午後一時経版地に向ったが興港開

なつた 浦項の迎日座

行つて打朗の途なきに至つたので ぎ知言が数字自立氏から内地配 組織し、温暖事項を開議の上引起から即饋離記で設村振典委員館を 支局长、早田本社支局及市民、市商品、大門治部氏、古川及市民、独合銀支店長、鞍月後日平氏、加合銀支店長、鞍月後日 辿り なほが項有意は近く悪度交渉に出に膨ぜさるは不解とされてゐる。 |永同| 郡では十三日午前十一時

永同排船振委員會

たのが心事試験場が最も提施して

のる服民部路の中心を通過させよ に傷がつき試験場は思索なげ首の との深で、子を助ければ親の身

浦明元老連は興復間と共行政策を一

用水に悪まれ

植行は順調 道内の大半はすみ 慶北の豫想は九割 問題の物神病者供師述(よ)が身投

側部番の中心を瀕産し始めたので「打ち込んだのを知つた脳事試験型」に備へて仁川劉では水防綿緞を樹一過することになつてゐたが、続近「仁鬱道の饗真竜内を測度し焼まで」【仁川] 副塾のギヤングの游水の

年々七十馬圓浮く

質問記事試験製化山牧器地内を通一番の中心を測量したのは、疑切水 最初水原郡安龍面梧木川里朝鮮錦|づ安心して引き取つたが、急に祁

【水原】目下工事中の水仁隧道は一はでない宣言明したので住民一先

水仁鐡道豫定地變更で

つものと見られてゐる 態で解決までには相當の曲折があ

洪水防遏 素砂方面の

水防湖布陣

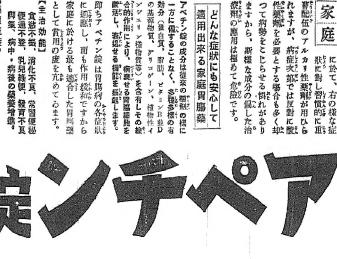
受難の部落民反對

過することになってるたが、膨近 【総額の製品側内を測量し焼まで】【仁川】型率のギャンタを渋水。 【大明】道内の波器観台は敷料を の作用し寄せその緩迫を迫つ 人権が消んで後先本常がが続度場 使、主脳の用水貯蔵を緩動し洗水 (砂底の塩)入気では入場がよれた。 近本他に押し寄せその緩迫を迫つ 人権が消んで後先本常がが続度場 使、主脳の用水貯蔵を緩動し洗水 (砂底の塩)入気では入場に上土・一種ののはかどらねに反し現在二十年との機能を接っては水田水に基本は美国のはかどらなに反し現在二十年との管地ではまた間に上た。 げ自殺を遂げた 大邱聯隊 戦車隊迎へ

大郎暫を行ふことくなつた大郎暫を行ふことくなつた 「大町」來る十五日から十九日書 連合で演習

开築蔵氏三女英子(ず)さんは擬似 に戦闘病会に終すと同時に厳重な 戦子フスと診定され直ちに<u>道立</u> [馬出] 通知三丁二類立位非常 馬山に擬似チフス

れますが、 が経文がでは反對に酸れますから、 が経文がでは反對に酸れたありつて対勢をとじらせる慣れがありって対勢をといる場合も多く地震がある。 家庭 曹配伍のアルカリ性薬剤が用ひら 適用出來る家庭胃腸薬 どんな症状にも安心して ペチン錠の成分は從来の醍醐の様に 翔の應用は極めて危險です。 歌に對し習慣的に重 に於て、右の様な症





狀症なんこ か鳴る。食慾は減退し、消化は惡くなり 苦しい。下痢したり、便秘したり、お腹・迄も食物の停滞する様に感じて胃部が重 痛を訴へる。少しの食事で満腹し、何時 心窩部に膨縮感や壓迫感があり、時に疼

丁子屋商品券

京 城

H

明

治

商店

京城出

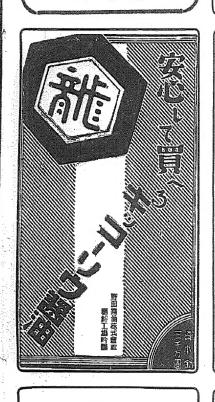
一張店

T. 中元御贈答最適品

ライトランチ 覧 子 晩 茶 明 治製菓賣店

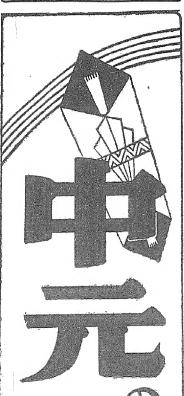
最 Ł 油



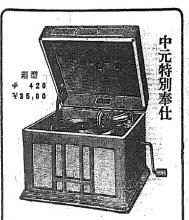


御 番喜ばれる此の優良品 進 物

社會式樣酒麥鮮羽







計時 器音蓄 8

堂時明

元中

迄日五十リヨ日一月七

是 進 非物

便

と利な商

S

劵

種目新しい夏向の夏の御床飾に適はしい花器床置物各 味覺をそ」るカットグラス製品 喫煙具新製品其他御進物品一式 御品は 階

高尚な御贈答品

店支城京會商澤大

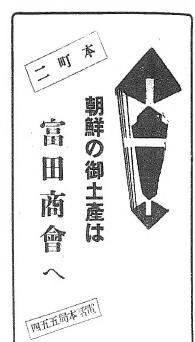
目丁一町本城京











諸和 門大店 洋家具一切 京城本町二ノ三 電話本局二三七四番 家具 Æ



花 園町公設市場 贩 蕒 組 合



厄險☆苦痛もなく

島第三高山

なだらかな高原を横切つて

遮日峯の頂上を極

戰

崩

原

0

魅

には京城飛行場で組立を短牒、十一信分館斡旋・穏で関田氏の際響と際、け武市院をのと際に採収をかける日次部購から来城したので十一日「午前十時から現底の部成す名は選「第しく入資布業派をとしく一受けている。 オリカ (対する) エルボート (対する) エルボール (対する)

間を電化

その前に複線にする

の深夜々業態止を行ふ智である

発館で三干に達してゐる。これ等 即も行旗病務交は行成死亡器は年

に對しては附出面が引取人となっ 世話をしてあるが現代

能に行版死亡者の保護期を制定 いので、本府にはこの行成病者、 だけでは河足、前婆強行が出来な 時数の一部を補助してゐるがこれ 直二十解英国の恩賜教施資金の利

京城の土幕民移轉

塚正通りに大性

報長に對し京城府では和光教師。 一に全部の移聴は絶望硬されてあ

工木費その他に使ひすぎて

上海路の二階階にそれく三千

対田の二ヶ所に移動を開始したが

助金宝船し八四里、弘の

朝鮮織物

がしたのみで補助金は土森民に 2年では弘明外里に検討四十年が

信報=朝鮮機物株式食化機工の代 表観的面、祖宗默、選挙**専**野の三

扱のため急行せしめた、なは間に 海洋建長谷川丸 (大〇トン) を

て制明、仁川署では午後四時期鮮て和の名ことが通行船の無電によっ

解決せん

路等の微設に計上され、全年中一名が鍛金引上其他の特別政策を相

を急いてゐるが、これによると

從來則數學到了

これを小花すべく、月下その準備

日にせずぶんで行く気の態な人と ひに人の稲曜に依れ、一滴の水も 断い世間に登寄りもなく、戦と病

子からこの事業經營の股備費及権

本府で保護規則制定を急ぐ

一を変配し、原門教師が造の利子を 見て年々各血へし谷町を施設する

救い

0

は前途不安が思想せられる

歸省列車

放展人致設所は全郎二十三ヶ所で

人は部格に交は形態家を選定して「る結婚数を國軍制助によつて生能」由来襲峰の行脈搏人能に行政外亡」上る一部制助と、近段補助とによ

- 「日野教師計畫」などに、というとの記しなうに、は五十一日 からグライダー戦行の實施指揮を大統領師グライダー供業部の「城の左にあの「戦快」な芸職「附近議」から三日間京城就行道で午後一時(はじめてお目見群すること)二日から領域によっていよく(京「脇による戦闘政党を受けて十二日)

イダー指導者的出建一氏が十つた簡単グライダー供業部の

原観地化の年間調査を含いであ 州を敗現する模様である。

根本的の解決に張めるため目 出要性は増大する事になるの

京城縣極の製作型生曜省臨時別は は来る廿日次の三個別市を延轉

蹶山勞働者 て延期され米つたものである

時間制限

少年少女の

りは物十三萬人と撮影されてる人 省の数は著しく増加し最近の割 内領山岸の設置につれ郷山学 郷川洋ではこれ空襲山 夜業も禁止

一間の交通位は複線の必要なし、常時 を鯉てゐるもので、全路線の

進十二年間消費等に包含証的の伽匠に複編事業費等に包含証明の伽匠に複編事業費等に包含証明に

者威権の界斯 聘招氏夫二井

間離に就業訓製を行ふ間標で 習の保健、風紀を岩虚して整動

当り埋くも昭和十六年迄に原線のるが、これより一足っに低定方針

文部省體操科目改正要目準據

目 · · · 文部省體操科改正要 園の男女教員 偏へよ!秋の運動會

學藝會

及び一 日の三日間 (毎日曾午町八時至午後四時生) ---八月十六、十七、十八 金绘圆 京城師範學校大器常

倉富

數武 男繁

申込について

氏氏氏 埋入口に於てお示してさい▲振雲貯金排込みの類合は振音力座言域便し金質製は由込みを開幕になるべく前期のこと金質互は第日質を入り着いたははなるでは、対したとのではないでは、大名を記載の人質希望の方は由込まり は、大名を記載の 修了監書 受講者には修了證書を交付いたし 資源海販設が「宮別 東源海販設が「宮別 込 所 京城附太平道一丁目

位許先生詳智

海道延口部生れ李徳順(so)につい

語供面的の一部に脂数短い的に

たもので観覚を恐れ支那人間志に一時行して色服の戦闘を機関ある。

一人組怪しい女の正體

一人につき世語物世鏡宛を践つて一てゐるが、過去の經驗方針が主と

とに叫んで来た効果は著し

間もからつて 探しあてた 場句

所在不明の親方を17~11度

「どうしたものか」と読を狙ん

の引き聞き回路当で厳重取調べた

観べを行つてゐる

類、がは三年回行路の支加人に

規資金町四の一三〇杯今難でご黄 | を翻刺せしむっ版牙グループを一 | てゐた擺ひがあり、これではおも 拳を買らしめんとしてあた鬼女 京 | あた 単独明 | 同語では 更に 曜に 麗 単 | して 冬の 服装に 對して のみなされ

掘すべく月下支那人敗名を破束政

しろくないと夏も角版を沿用せし

ふのが「間外部へ間けよう」と

だ、その結果、文宗の智器とい

いふのであつたさらだ

して一層方針の徹底を闘ることと

出が観者の数は男子二萬三十年

抱かれよさし

一海の天祭は課題になるがその領持一て來ると想しも都が続しいとは思 の神秘とでも説明した方がいくだ はないのは事政らしい、それは山 してある昨年三回も性優した城大山りで希思書を築つて行く眺遊が 山岳部の伊藤郡の馬を借りて説明 に関れて四日日位に朝鮮第三の (0)

村の人達はまるで兄弟

天都生而に優れて来ると都會の既

ジャン緑があるが、山は都の部分 の何處かに節の軍分が扱けきらず



らぬ小島が花の縁を縫つてさる

遮日に向ふ尾根に取りつく

日韓の最高頂上だ遠くから見えて

こは我々の月的地二汗五百六米巡

ば二百婦敷もある平坦なそして素

▲ 壁の頭上も、来で見れ

た記者はもう山の神秘

等割增金壹百回附

心ゆくまであたりの総量を検弦の み切った船もある、

量り朝は総がかっる

冶壹年七月

铢

式

會

祉

8

本

勸業

畿 íĵ 整変を用いて

がら最後の居根を行り切ると、 を盛りに吹き蹴れてゐる、あれも ケソウ等の高山植物のお花畑が今

これもと可能な花に心を軽けれな

極めた点びと難転の幸福、背谷の

等割増金附當簸番號へ左記ノ通リニ候

験傾斜がつぶく、谷川のせょらぎ

ズ、ハクサンイチゴ、チョウノス

に第二郎を深り切るエーデルワイ

てゐる下には高低な姿をしてゐる

録いてある、第一節から鼠根除ひ 風に齎すのもいゝでせる腰を下左は軽者とした大樹液が果しなく う、ヤフェーを 繋の取り叫ん

う、ヤフ ホーを 壁の限り叫んで か大聲で呶唱つて見たくなるでせ

と浮び上つてゐる、遊はなほ

側には乙女の無疑に悲してやりた を聞きながら慰って行く、他の別

やらなライラックの花が人々を

信度アルプスを背景にした数型の

先きほどの一般の小量に分間

関北直では協議運動と相

について府と聲を客では九日午前

に――であった

【馬山】 入街の艦隊將士歌迎方法

歡

迎

慶北の奨励

でうた。入道室が峠とのスカイラ

の指圖により乙女母を誘拐しては あるが、 部外にも彼女等は支那 では則則盟所で理論禁を経路して

れで自動用通行の便もよくな

防空展列車

朝鮮最初の帆走機

ふ組立を完成

その指導者の前田氏きのふ來城

あすから夏空に飛ぶ勇姿

たが愈よ了野二英国を投じ劉六米のは企業が最近に依る大迂回だつ

戦する設定である

により性十町と加頭町を続い 場所土木船では東部の倉頭な画 橋をかける 往十町龍頭町

ほか副南殿にも乗り入れる雪で、

空観列山は京都、京兀、戯鏡観の き込むため運転するベノラマ式が

脚を整へ、半島田に防空思想を吹既報、北部及び南鮮の防空調習度

八月に運轉

西大門署活

これ領域の概な人々を保護せんとするものである

長は北北な面持ちで注意と微動を ではこの機に一撃に解決するため 十日役九時署録を動設して木村署 やうな事物を二世も持つ西大門署 その地に隣接して未解決の間じ たつてゐる

光づ毘黙の選見に龍山岩跡と脇 としてゐる、事性の解決がつかね 京城方面

見九日の海上で単画、佐蔵に関し

に決定した、なほ十三、四朝日機

医膜作剂

告に取り特ご言図にて掲みず

神髄交通タイムス<u>地</u>脚尾球宮駒福

懸乳

世 入用あた、大月瀬出産 で、住込出来得る方。 新井面県 京城和県町一大四ノ二〇 南大門小岩座门前 神守健介

※ 京日案内

京本人子的中央語 京総元金町三丁旦二四四 位慶万 京総元金町六〇七番 青 木 東部本の六〇七番 青 木 東田県の前総本圏 大 郷田県の前総本圏 大 郷田県の前総本圏 大 郷田県田でい

算物を扱う セキョックの

工場際自各人用印刷に

類の配面教育の必死の形力にも、既報、大興町の超額事物は非常社

與へ直もに西部京城に網を賭けた

たがその中から方面常効委践は左 干六名は本月四日は確され

容疑者取調

で何等かの贈続を群ようと仲間にら答疑者五六名を逃行して取調中 いらしく、十月午後、河龍町万位か

川沖合で坐礁

学館ポン

反馬汽船の葵丸救助

泉城府内五万龍區に於ける万面帝

度城大興町に温松華他があつたが一角らず、これといふ日ほが付かた さきの事件にも全力 質異の徴たけを容れその他の要求。田工書長に陳何したが簡単間では ■影像氏の

「既成と自転倒の

記録と れ

事件は

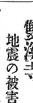
説外早く

解決されよう を担配したので肥業取も鑑らず結

代時間には出動するものと意思さ

出動が暦に向った陰患が船の表対。し打合せの結果、府内自動車メス(11川 単語)十日午前七時代刊を一十時から同署内に觸線所属を開設。 (三八六トン) は仁川八尾除神西 全脳無料、タクシーは五十段均

橋 本 日 花節を無料公開することになった 倫で基間的地震は、馬山湖里で良 独は雨日とも午前九時から午後四 マス度防社が全地増する、軍艦邦



その地大小建物が大硬板してある れて倒坂してゐる外大雄殿(本原) (等の調整 御師大が塔か後方に折 【幸山墨店】去る四月柳南鮮の地 場所につき苦局で調査したとこ 慢們用立河東北花出面古和豐

強補

精血

五分入城大塚底部、十八日午後 猛跃ら廿二名十七日午後七時廿 建成沒是問難。北支見學團 寺田 设十時五分內地へ 午期十時卅五分入城 (校 三宝威光氏5廿

の鈍い人は

現大用で

記憶力、 年中頭

判斷力

痛する・

人

鼻の病に注意せよ

治療書無代進呈

+

帰訟が一度とも即が ・・支那人荒しの

いったくと承知しないぞ! 領町の時には関はれた連中一番 おどされたので、まづ観方の闘 今度は非告が遊かつたが断 察は良を極かれた

頭の工合か急に膨に 最後まで完全

のります。総つ | 一部形込みられが呼吸状態にます。 | は今スタに 京城日帯で見たと明了に開って日 | 一部形込みられが呼吸状態にします。

上價還勸業債券支排開始廣告

理店並那 八月一日ヨリ全額支拂開始可致候ニ付當行本支店各地代 第五十八 追而本債券ニ付ラハ繰上償還期日以後ノ利子ハ御支拂不致候 |一便局ニ於テ至急元利割增金御受領被下度候 同勸業債券ハ本月一日繰上償還抽籤ヲ了シ來ル

等割增金页干圆附(第六五六六七番 等事等等等等等等等等等 九八七次五五四式並九六並 九章七〇八意志五五多八八 六四五九多五〇六章令〇式 六日至九多五〇八章令〇式 六七章或四〇四五壹五六 六九章为成成九六七章或六 番番番番番番番番番番番番番番 鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉 九八七六五五五夢擊九七 九七八八八夢○四八九時九 八九六六六七四九九 臺四八五四五六九 新八四八七八四六八四〇五 第八〇夢七六番

第第第第第第第第第 九八七六五五多南悠九四 六書在○四長六成四〇〇 四季九六多南九四一 四季九六多市〇〇〇市 〇成前六八面○今六五 晉審審審審審審審審審審

フタサー

じてゐた領域の中には、際傷を飛 も、概要とか生活に對して積極低に落付いた。対けであられた彼女 いる別れた良人の噂を聞いても別 つと町から同様してゐた女と正式 じてゐた。京城の父の許へ來て三 尚沼とは、月と鼻の鎌倉に、ずら 過招の家で展てみるやらな気がし に結婚して、砂近引越して來たと と彼の音が耳の底を置つてゐる。 目になるのだつたが、目を終る と語内の至常に徹底したものを聴 父の家で不同目盤めた理論は、

されてゐるのには簡章でずにはゐ一るのだが、五月に入ると、際くな 来て、少し般の方がよくなつたら めかしてるたのだつた。 れ、と、階に文説と相談して今後 の身の張り方をつけたがい」と仄 心臓びに行つてはどうだ

世紀は、女里校へ通つてるる妹」 で、納沼には朝にも晩にもやつて 人と一緒に東京で葬してるたの 度と結婚はすまいと心を決めてる 文字は無意味な羅列に過ぎなくて 夏翰はその際間、キラリと語で潤 つた。彼女は何時迄もその姿態を 白い紙を眺めてゐるのと壁らなか たらしい。本の上に目を落したが んだ瞳を上げて男のネクタイの邊 りを見上げたが、男は深附かなか

十一口番組

加泉山光生の本領(六) 加泉山光生の本領(六) 加泉山光生の本領(六) 明の修養 佐久 同七時(今(平)朝の修養 佐久 (三子九) 丸山順太郎 「一年前"時(東)ラデオ個様 (土曜日) 放送

同九時一五分(須褒通報・料理版 同九時一〇分(須褒通報(黎山) 同九時一五分(第七勝)乳幼兒 同九時一五分(第少通報・料理献 立 四〇時三〇分(大) 班の時間 斉兒十二ヶ月(第七勝)乳幼兒 同九時三〇分(次) 班の時間 青經、宮城) 青經、宮城) 西世の三十二ヶ月(第七勝)乳幼兒 同九時三〇分(次) 班の時間 青經、宮城)

正午 (東) 時報 日用品位段・鮮路県師士 大久保町郡 ハセル・ドラノア作曲 音の姿 マ谷河奏所より中郷 音の姿 マ | 同三時| 王分 婦人の時間 第一 故 送

(11)

図に組むつもりだつた 図に組むつもりだつた

と禁定作戦の歴史を選組してゐ

山) 地方へのニュース(朝鮮語・笹 地方へのニュース(朝鮮語・笹 (時三〇分 (東) 時報 E 五 外務省東亞局長 桑島 主計 時事解説日支國支の闘

醤油にや

わけても

界料飲酸乳

焼しいさらに交おいしさらに見えののけがを一寸了天すると大戦 通のお照物などでもその切り方、

旨味が百倍!

・ーバムナの

味の素入れて

崩さなかつたo ニュース・天冠見込・職

第一脚辺より中間ー

記(引題の段)

同九時(名) 觀河質記…岐阜市金國 東山工業子外 同八時(東) ラデオドラマ 樫の理学博士 早坂 一郎

家庭議路 午後二時 夏向の惣菜料理

> 効果はあるが 何に入れても

も金融が取べて参ります。こんな 料理はお概などの料理より却つてばれる様でしまいます、お野菜の 森のあつさりしたお料理の方が勘時には敷担の過解なものよりお野 むつかしい様にも思ばれますが好 一夫すると大変

同七時IIO分(台北)器巡 台灣

ない過ぎたら

あるわ、

心配しないで

o op

『成分』 銀炭末ミ塩化銀珪酸を主効分させる糖衣錠なり

36-864(0)

錠

安宅 八山歌 黄頸栉外 大連直行 (三等七型) 初鮮北海道大連絡 ×印(椰太行 四一次分元 天 海 丸 七月廿一日 天 海 丸 七月廿一日 天 海 丸 七月廿一日 四条海丸 八月四 日 四等都總、叛奪總、极致、伏木、船 加,,身流、小凉、人日 新山山 代理店 明海 丸 七 天海 丸 七 日本海丸 七 七 大石本海丸 七

歌なお智理法を申し上げたいと思 季節初のサム、キャベク、元子、 た豆腐などについてお惣亜向の敵

北西湖 八章四 國際語一七番

北月十五日 編集出版。代理店 圆层運輸支店 北月十五日 高屋田町大店

七月十六日 七月十六日 七月十六日

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

猪鱼两上演映

新、後山)夏と心の緊張 同三時一五分 婦人の時間 (朝鮮 同二時 家庭路座 夏向きの惣菜回零時四〇分 ニュース

十二日きへ物

丸七月七日 九 日

問藝術研究會 申 海中月

水道出帆 代理店 日本海丸 八 第山山帆 代理店 おおお 本語語 代本通行 新通 20 内地方語地 代本通行 新通 20 全部的な研究の通行 近週 20 実内質的基 本能及代理店(簡申 整个型的基 本能及代理店(簡申 整个型的基 20 次等全规的第六件指因交り 七月十七日 電田 商會 七月十八日 一門師正送支店

の今迄心を占領してゐた男の姿が

いて、何心なく酷を上げると、

あつた。

門方門戶品明石町 嶋谷汽船株式會社

九州郵船株式會試

同物時五〇分(新店)河洲推築 と子供 大石 一時一〇分 家庭網座 脱軍一等主計正 市川

大和組回漕部

同一〇時四〇分(災) 講領 頂面

良

急·慢 腸內殺菌·毒素吸著劑 外に排除せしむる作用を有す。物質を、その極機細なる分子に吸著し、これを体物質を、その極機細なる分子に吸著し、これを体物質を、その極機細なる分子に吸著し、これを体外に排除せしむる作用を有す。 食餌中毒 ス・脇結核の治療に用ひらる。 性腸カタル

シリン錠は、殺菌作用を有するを以て赤痢

【版 格】 10錠入公 0 錢) 10錠入公 0 錢) 100錠入公 四) 100錠入公 四)

店商衛兵長田武懿 元 寶 發 明修進軍事由股大 店商衛兵新西小懿 店理代東顯 四本區線末日軍京東

金元・大連行 | 塩素角末比抗、 田子腹壁八番 | 1年1年1 | 1年12年1 | 1年1

来容切符設質所、京城三超支店内等やインフーリストビニーロー 代理店



等四 9

侯 樣 第二個 倒級 置 時計 色シャ ン 1 'n ブ 儿

に毎月一度づいは鵠沼へ随出して

と、急に個めな事様になった。

見過しの一手に双龍子

戰

青の後々初めの零へはこの一四歩 あ上端して、もし就が受けなければ かと渡してゐたがここは先に三二 会とようでからそれからの手であ 四つた

一四歩は早い特供は玉本窓であったい。有利な條件が生れやう一地域へ移して置く方が安心して戦ーのとい。有利な條件が生れやう

個む中村四段

たっとでも通った前のやらに駆は

待ちながら、あの確か宗像とか聞 符合鉛の片間で京城行きの汽車を

消費時間

マ五十二分間

いた酵年は、下脳から門司へでも

のホテルのマークをそつと見上げ

步步步步

スウトケースに貼つてある機文学

てゐると、男の目に行當つて吾れ

4444

步銀

▼一四歩(9分)

既記者から問ひがあつたが、と興

譜部 八段 金 易一

よく學べ

とれは三三萬、七七銀、六二最 と早く安全地帯であし、勝寒に飲 ける如何なる遺滅にも備であられ っだけの準備が奇しいのである 局面の線な場合の駒組みの投否 ひであるが社道して張起すべきで ある

交したのはホンの値かばかりで、

も知れないと、その程度の期待を

| 夏箱の方は始終眩しいやうな気状

職は八四歩迄の局面 五学錦木氏

こまと上つて、先に殴つてからここまと上つて、先に殴つてからここまとって、先に殴つてからこの出を狙つても迎くない

本一のおや

よく遊べ

元氣の素となる

(正説の歴第者全部へ進品)裁優美 送レ

車畿 計地鞄

● 然 题 明和十一年十月一日前後 ・加國方法 一口母に加黎莎、沙迪星 一口母に加黎莎、沙迪星 一口母に加黎莎、沙迪星 一口母に加黎莎、沙迪星 一口母に加黎莎、沙迪星 小母。

X-12

荃三千國劉境金附廿國野 一**側也割引勸業儀券** - 一、三等はお好みの一品道皇 大器品 娎 · 終治 T. IONDO S. COLU P. Killing Linde e e

h

23 抽卜緬

規定